STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン

vol. 15

（ゲティスバーグの夢）

荒木飛呂彦

JUMP COMICS

スティール・ボール・ラン 15 荒木飛呂彦 ◆ 集英社

9784088745183

1929979003906

ISBN978-4-08-874518-3

C9979 ¥390E

定価 本体390円十税

雑誌 43087－18

7th.STAGE終盤のゲティスバーグで、ジャイロ達は既にリタイアしたはずのH・Pを目撃。奪われた遺体を取り戻すべく彼女の後を追い、辿り着いたのは町のゴミ捨て場…。罠の予感、そして新たな敵の気配が忍び寄る！

ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RU
ISBN978-4-08-87451

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 Part7

STEEL BALL RUN

ゲティスバーグの夢(ゆめ)

vol.15

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

"STEEL BALL RUN" RACE
全行程中にニューヨークを含め9ヵ所のチェックポイントを設定、そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そして各チェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！
GOAL NEW YORK
6th.STAGE 690km
7th.STAGE 1,300km
4th.STAGE 1,350km
5th.STAGE 780km
『スティール・ボール・ラン』レースとは
太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km 優勝賞金5千万ドル!!（60億円）
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3,600人を超えた！
そして1890年9月25日 午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！
ルーシー・スティール
スティールを支える妻。夫を「よちよち」となだめる彼女は弱冠14歳!? 遺体の一部「右眼」を持つ。
スティーブン・スティール
40年のキャリアを持つプロモーター。SBRの主催者。

ジャイロ・ツェペリ

ネアポリス王国の法務官。不思議な鉄球を、自在に操る特殊能力を持つ。国家転覆罪で捕まった幼い少年・マルコの無罪を信じ、彼を救う手段である「国王の恩赦」を得る為、レースに参加。

1st.STAGE、1着でゴールするも走行妨害によるペナルティで1位を逃したジャイロは、勝利を確実にする為、ジョニィと協力関係を結ぶ事に。続く2nd.STAGE、アリゾナ砂漠を突っ切るジャイロ達の前に突如テロリスト達が立ちはだかった！
戦いの末、彼等の狙いがレース中、ジョニィの左腕に取り憑いた『ミイラ化した左腕』である事を知る。
なんとＳＢＲレースは、大統領の陰謀により、アメリカ中に散らばったある人物の遺体を集める為のレースであった！
その遺体を全て集めた者は真の『力』と『永遠の王国』を手にする事が出来るという…。遺体の力でスタンド能力を身につけたジョニィは、その力に希望を感じ、残る遺体を集める事を決意。遺体争奪戦が幕を開けた！
6th.STAGEゴール間近、『両脚部』の遺体があると思われる凍ったマキナック海峡の上で、ジャイロ達を2人組の刺客が襲う。ジャイロとは異なる鉄球を操るウェカピポ、あらゆる攻撃を受け流すスタンド使いのマジェント・マジェントに対し、生命のない氷の世界で「黄金長方形のスケール」を

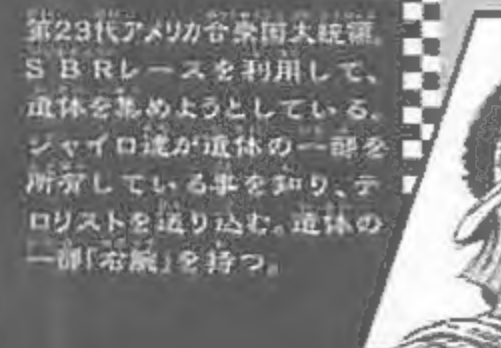
ジョニィ・ジョースター

元天才騎手だが、慢心から半身不随となる。ジャイロの鉄球の力に希望を見出し、秘密を知る為、レースに参加。「脊椎(一部)」、「両脚」を持つ。

START
SAN DIEGO

見つけられないジャイロ達は絶体絶命に！
氷の陰にいた鳥の体に黄金長方形のスケールを見出そうとするが、その鳥すらウェカピポの鉄球が湖に沈めてしまう。
だが、その時、割れた氷の下から吹き上げた氷しぶきが雪になり、黄金長方形を形作った！
形勢を逆転したジャイロ達は刺客を倒し、『両脚部』を入手。そして氷の海峡を越え、ジャイロは6th.STAGEを初の1着でゴールした！

ファニー・ヴァレンタイン

第23代アメリカ合衆国大統領。ＳＢＲレースを利用して、遺体を集めようとしている。ジャイロ達が遺体の一部を所有している事を知り、テロリストを送り込む。遺体の一部「右腕」を持つ。

ホット・パンツ

何者かの命で遺体を集めているが、大統領側の人間ではないらしい。遺体の一部「左腕」、「脊椎」、「心臓」、「両耳」を持つ。

ディエゴ・ブランドー

通称ディオ。イギリス下層階級出身の天才騎手。ＳＢＲレースに優勝し、栄光と権力を手に入れる為に参加。遺体の一部「左眼」を持つ。

STEEL BALL RUN

vol.15

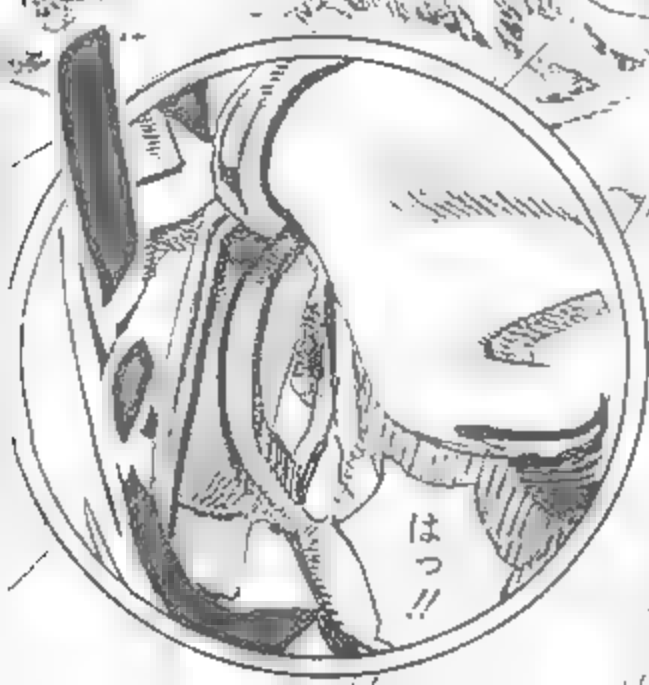
CONTENTS

ゲティスバーグの夢

#56
シビル・ウォー
その①

死因は
川に転落した際の
衝撃による……
ドドドドド
落ち着いて
くださいッ！
スティール様
うわああああ
あああああ
あああああ
どうか！
どうか！
落ち着いて
ください
……頭部への
挫傷と思われ
ますッ！
うっ
うわああああ
ああああ
なぜだッ!!
図書館から
帰ると
言ったのに
…
なぜ
こんな場所
に!!

ルーシー
うわあああああ
あああぁ
4週間前――
――シカゴ郊外南――
ミシガン湖畔
フォックス・リバー沿い
しっかりしてくださいッ！どうかッ！
ここへ馬車をッ！
早くッ！スティール様をお連れしろーーッ
はっ!!

ハアーッ
ハアーッ
ハアーッ
ハアーッ
ハアーッ
ハアーッ
馬車をここへ持って
来いイイーーーッ
ルーシー……
……しゃあ……
……………

ない・・・・・・・
ハァーハァーハァー
あれは・・・？・・・
ハァハァハァッハァッ
あれは・・・・・・ルーシーと違う
わたしにはわかる・・・・・・どういう事だ・・・・・・？
顔はどう見てもルーシー・・・・・・
・・・・・・なのに・・・・・・あれは「誰だ」？
あれは！？！？
○マキナック海峡
──7th. STAGE──
12日目
──フィラデルフィアより西へ約145km地点
ゲティスバーグ
フィラデルフィア
ゲティスバーグ

Bowie Knives
Hats
Gloves
CATALOGUE
ジャイロ……何か欲しいものとかあるかい？
カタログで注文しておくと次とか そのまた次の町で品物受け取れるぞ！
ゴルフセットとか天体望遠鏡もあるしオマルまであるぞ何でもある

文明だね

カード5枚ちょうだい

人の事さんざ待たしといて決断が5枚かよ!

ジャイロ見ろッ!!

ドドドドドド

「ホット・パンツ」だッ!

あの野郎〜〜 下痢したニワトリみてーに 急いでるぞ・・・ あいつ もうレースは 関係ねえのに・・・
しかも このオレらのキャンプにも 気づいてねえみてーだ まるで何かから逃げてるみてーに急いでいるぜ

よし! 追うぞッ!

火消して荷物をまとめろッ!
あのくそ野郎から持ってかれた「遺体」を取り戻すんだッ!!
ドドドドド
ああ……!!

どっち行きやがった!? あいつッ!
あんなに急いでこの町に何の用だ!?
どこで何しようとしている!? オレらの追跡に気づきやがったか!?
いや……
それはまだみたいだ

なあ
ジャイロ
……
もし追いつめたら
「ホット・パンツ」を
どうするつもり
だ？
ブチのめして
……
そしてまた
ブチのめすッ!!
あいつは
敵じゃあないが
ヤツの真の狙いを
しゃべらせる！
ハッキリさせるんだ！

グッ

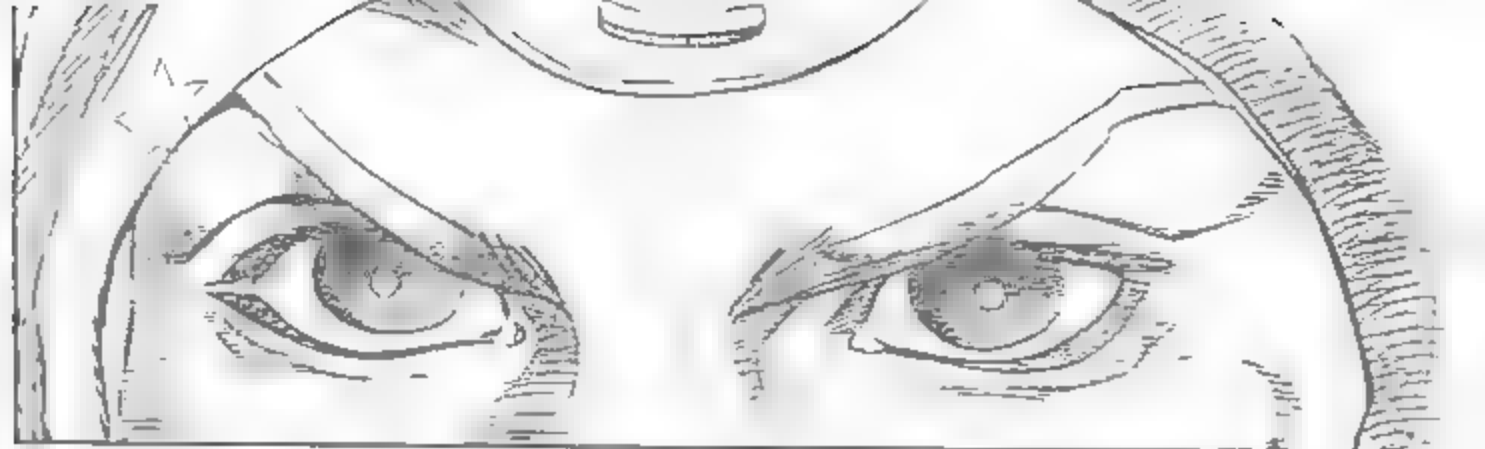
「遺体」が
何者のもので
ヤツがそれらを
集めて何が
したいのかをな…

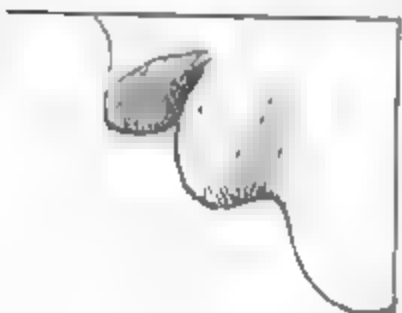
……
チラ
キョロ

この中に男が入って来たはずだッ！
奥はどのくらい広いんだ!?

はッ！

いや…
失礼
シスター
オレたちの方から
面倒を起こす
つもりは
ありません
すみませんが
ここは
教会所有の
建物ですか？
それにしては
あまり
美しいとは思えない
もので
そして
もうひとつ!!
あんた まさか
「ホット・パンツ」を
知ってるとか？

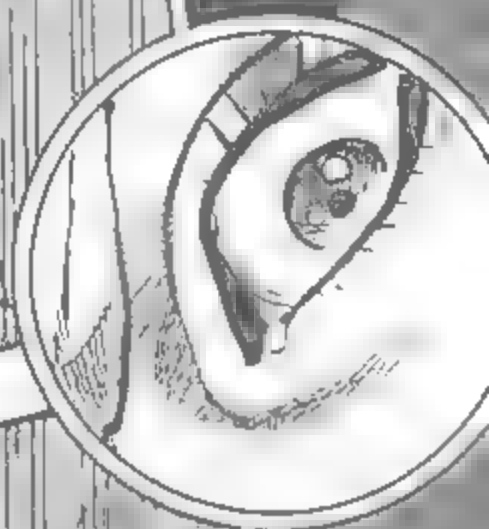
ここは ただの町のゴミ捨て場
わたしも…初めて捨てに来た
ここが広いかどうかも知らない
「何か…」
「何かだな」「いよいよの気がして来たぜ」
ホット・パンツが何してるか知らねーが「ここがヤツの「遺体」の隠し場所かもしれねえ……」
『そして次の「胴体部」もここのどこかにあるのかもだ』
ジャイロ そのシスターを見張ってろ！
……奥を調べてくる
合図を待て!!

ジャイロにはまだ言っていない
言う必要がないと思ったからか
なぜ言わなかったのかはぼく自身にもまったくわからない
君が「女性」だという事を…
ホット・パンツ！
目的を言え!!
遺体を集めている君の目的をッ！
女だからとはいえジャイロが戻って来たら優しくはないぞノ！
今まで命を懸けて来たんだからな！

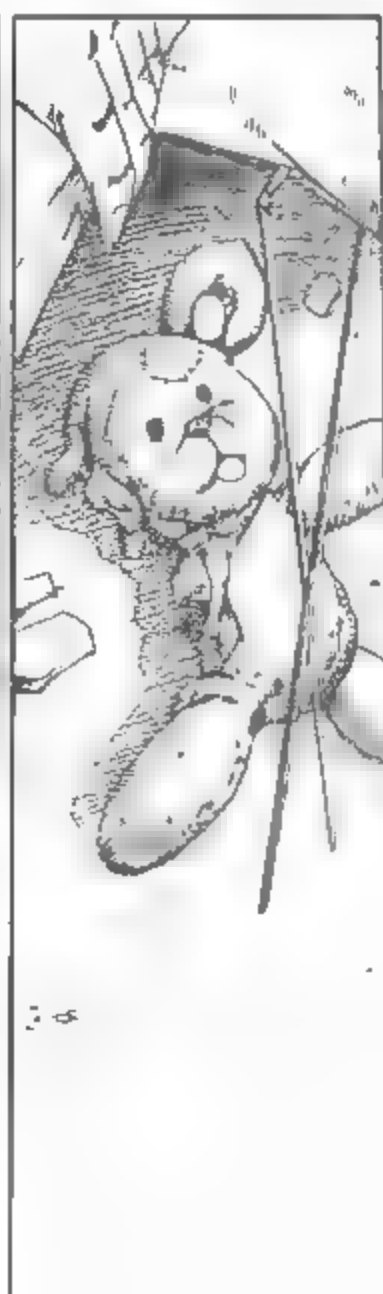
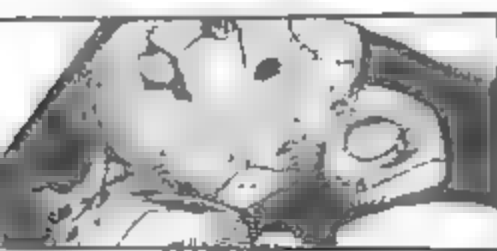
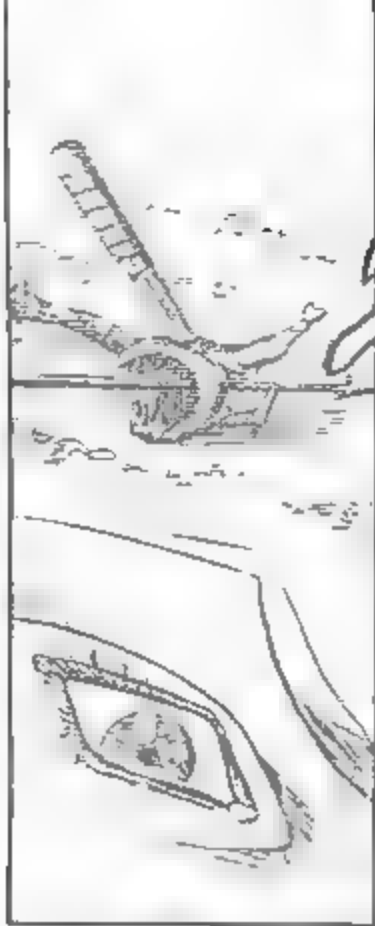
氷の海峡で「両眼部」を手に入れたのなら
決して敵にしてはならない
所持しているのは……ジョニィ
あなたの方……!?
おい！
なめるなよ！質問しているのはぼくの方だ
答えろ!! ホット・パンツ

君は修道女なのか？
故郷では……普通の女性に戻ったりするのか？
……誰かを恋したりとかするのか？

ジャイロなここへ呼び戻したら2人とも死ぬ
だから向こうへ行かせた
あたしの「遺体」は全て奪われてしまった
決して放してはいけない
どうしようもなかった……あたしは捨ててしまった
ああ
神様……あたしは全部
さし出してしまったわ……

はッ！
ジョニィ
絶対に・・・捨てては・・・いけない
あたしの「スプレー」さえ効かない吹き出す事も出来ない
あたしが・・・捨ててしまった・・・から
ドドドド

何だ！
『ホット・パンツ』
何が起こっているううう――――ッ!?

ド

ジョニィ あたしはもう 耐えられない
教会に 仕えても 神様に身を 捧げても ダメだった……
あたしが 捨てて しまったから……
もう 心が折れるわ……
あたしは 「聖なる遺体」を 集める事が 出来なかった……
「敵」かッ!
ホット・パンツッ! すでに何者かに 攻撃されて いたのかーーッ
「水」で 諦めて ジョニィ……

もし あなたが
捨てざるを
得なくなったなら
………
それを
『清める』しか
ない
いったい 何を しゃべっている!?
他に!「誰か」?
「敵」が!? この近くに
誰かいるのか?
ジャイロオオオオオ——ッ
戻って来いッ! ジャイロ!
ここには「敵」がいるッ!

……これは……！

『人ハ何カラ捨テテ前へ進ム』
ソレトモ
『拾ッテ得ルカ』？

ゴゴ
ゴゴ
ゴ
ゴゴ

『何だ？こいつは!?』
『敵』!?
その地面!!
そこにあるのは……
はッ！
!!
『遺体』か!?
そろって
いるッ!!

#57　シビル・ウォー その②

SBR
大陸横断レースも
7th.STAGE
ゴールまで あと
予定2〜3日の位置
サンティエゴでの
スタート時 総数 名いた
参加選手も――
「氷の海峡」は
「アリゾナ砂漠」以上に
過酷だった!――
現在 何と61名まで
激減

6th.STAGEまでの『総合順位表』

シカゴ・ミシガン ヒューロン湖・マキナック[illegible] [illegible]
最終到着選手数　61名
リタイア者数　380名(ホット・パンツ含む)

位	総合順位者氏名	総合合計獲得ポイント	これまでの順位 1st 2nd 3rd 4th 5th 6th	タイムボーナス
1	ポコロコ	273	3-9-5-2-1-3	1時間
2	ジャイロ・ツェペリ	246	21-4-4-3-4-1	1時間
[illegible]	ジョニィ・ジョースター	245	5-2-2-4-5-2	——
4	ノリスケ・ヒガシカタ	223	19-6-12-1-2-4	1時間
5	ディエゴ・ブランドー	192	2-1-3-着外-着外-20	1時間
6	スループ・ジョン・B	79	20-10-着外-8-6-6	——
7	バーバ・ヤーガ	72	14-15-8-着外-10-5	——
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

6th. STAGE 総合確定順位表

	氏名	獲得ポイント
1	ジャイロ・ツェペリ	100
2	ジョニィ・ジョースター	50
3	ポコロコ	40
4	ノリスケ・ヒガシカタ	35
5	バーバ・ヤーガ	30
6	スループ・ジョン・B	25
7	ジョージー・ポージー	20
8	ゼニヤッタ・モンダッタ	15

しかし
この表の意味する事は
ここまでこの大陸の
自然と文化を越えて来た
人間たちと
その馬は……

いずれも
誰ひとりとして
能力が劣る者のいない
淘汰された実力者たち
という事実!!

「9th. STAGE」

「8th. STAGE」

「7th. STAGE」

ニューヨーク・シティ
マンハッタン島

フィラデルフィア

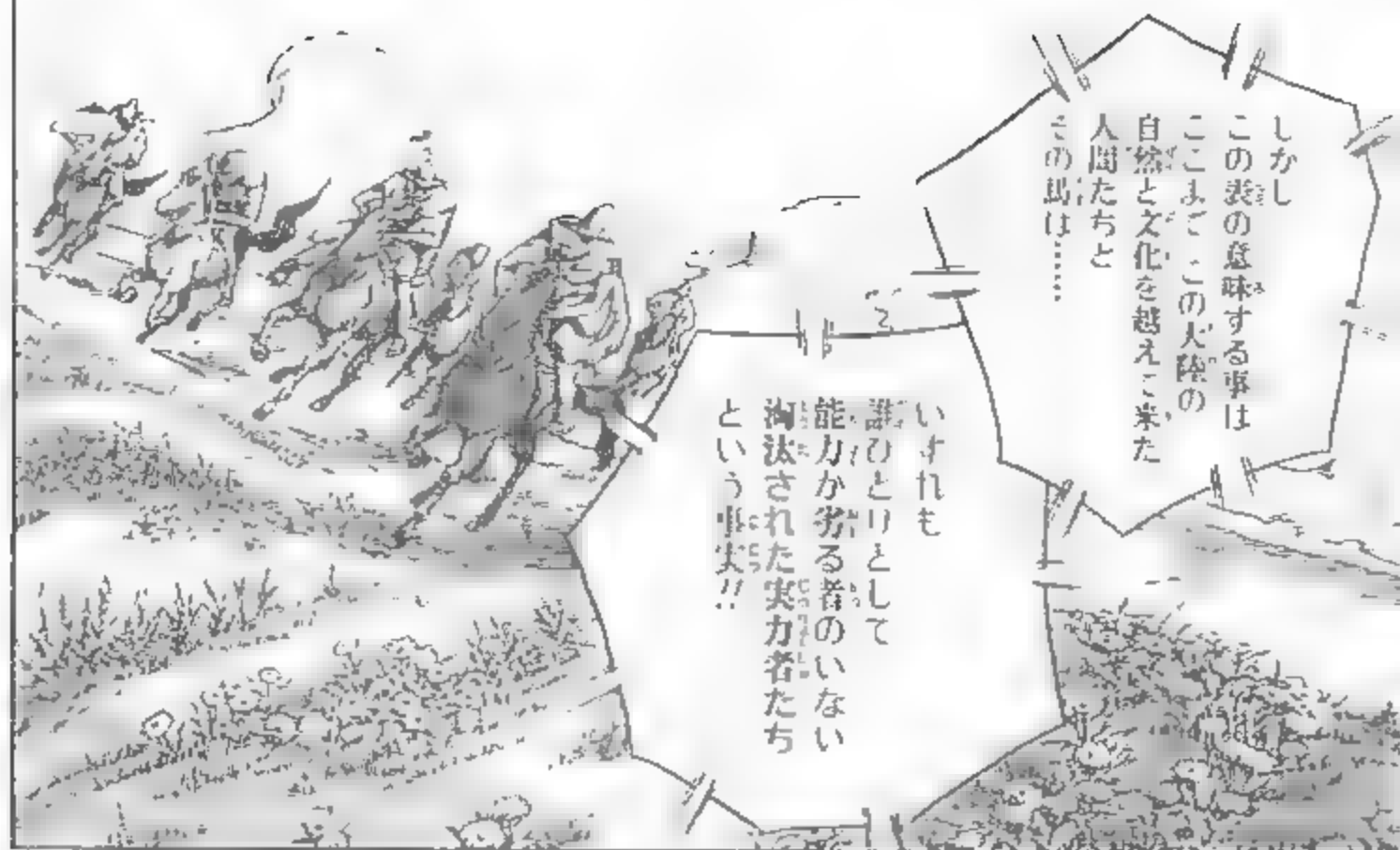
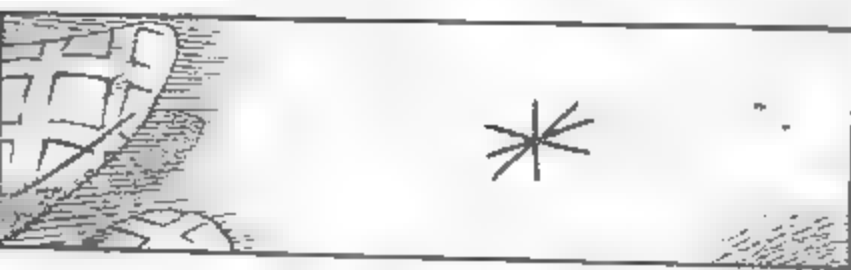
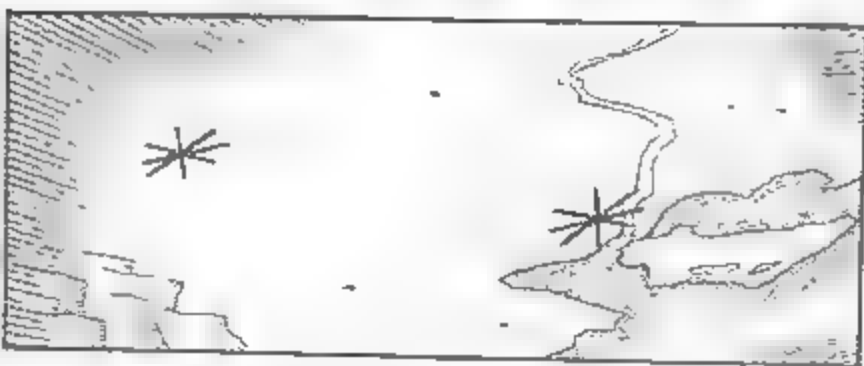
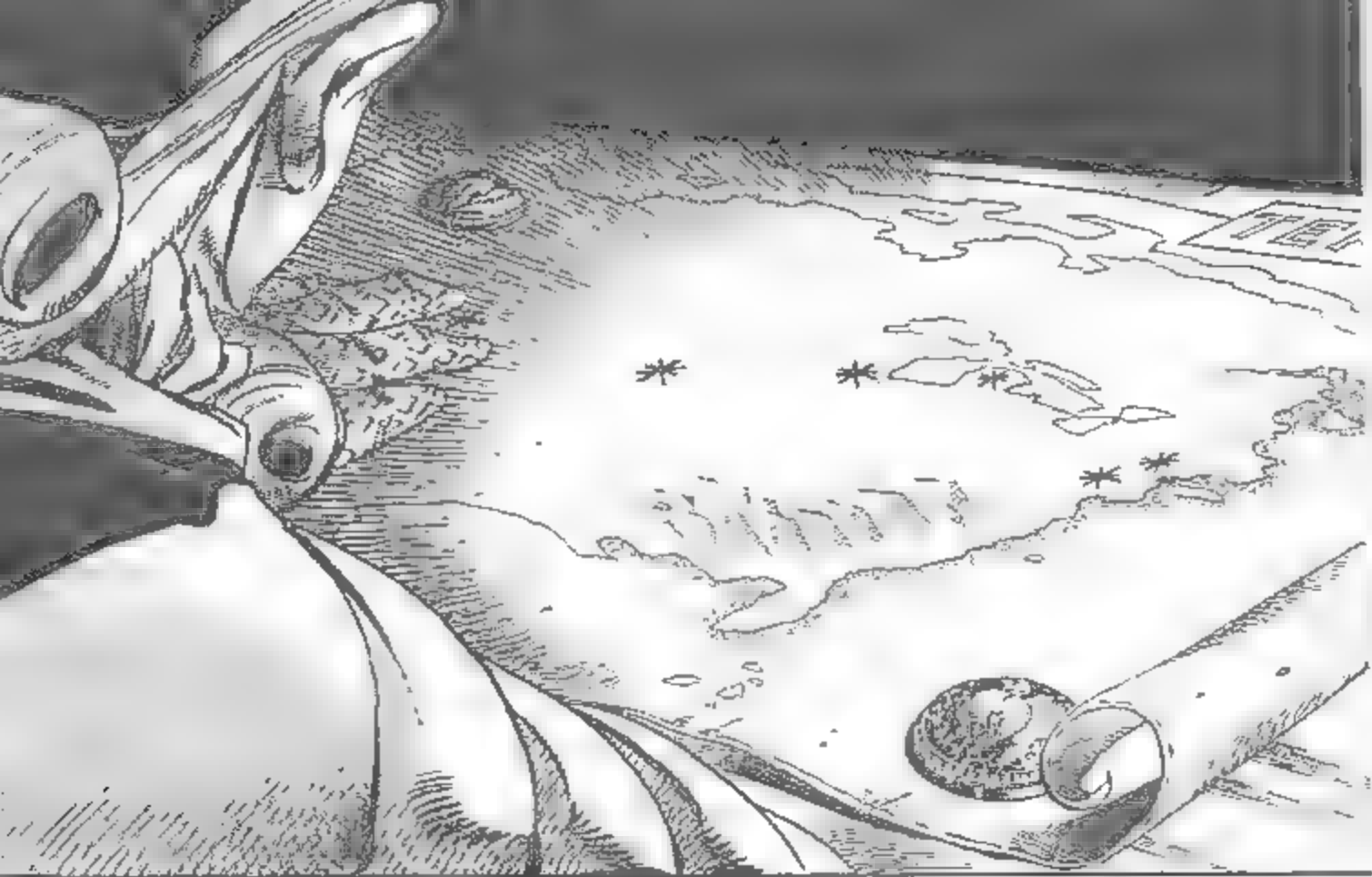
ゲティスバーグ付近

しかも7th. STAGEの
ゴールである
フィラデルフィアを迎えると
残り2つのSTAGE間の
走行距離は
短いショートルート！

フィラデルフィアを
制した王者が
そのままニューヨーク・シティまで
「3ゴール」独走する
可能性が高いのです

3ゴールで
300P!!

つまり！
誰でも逆転優勝できる
ターゲット内に入るという
重要な
「7th. STAGE」
なのです!!

ATLANTI
OCEA
大西洋

そして
そのせいかどうかは
わかりませんが
賭屋の
オッズ長
一番人気は……
何と
ここに来て
『ジャイロ・
ツェペリ』ィ
イイイイイイ!!
2番人気に
『ジョニィ・
ジョースター』ァア
──ッ!!

サンフランシスコからNY
ロンドン・パリから東京まで
表や裏で大金が動いているッ！
世界中の人間が　2人の
どちらかが優勝するだろうと
大なり小なり期待に
胸をふくらませているのですッ!!

あの「2人」……
レースのコースを先頭集団のルートからわずかにはずれた…
つまり…
「見つけた」……という事だ
「胴体部」と「残り」の遺体を……

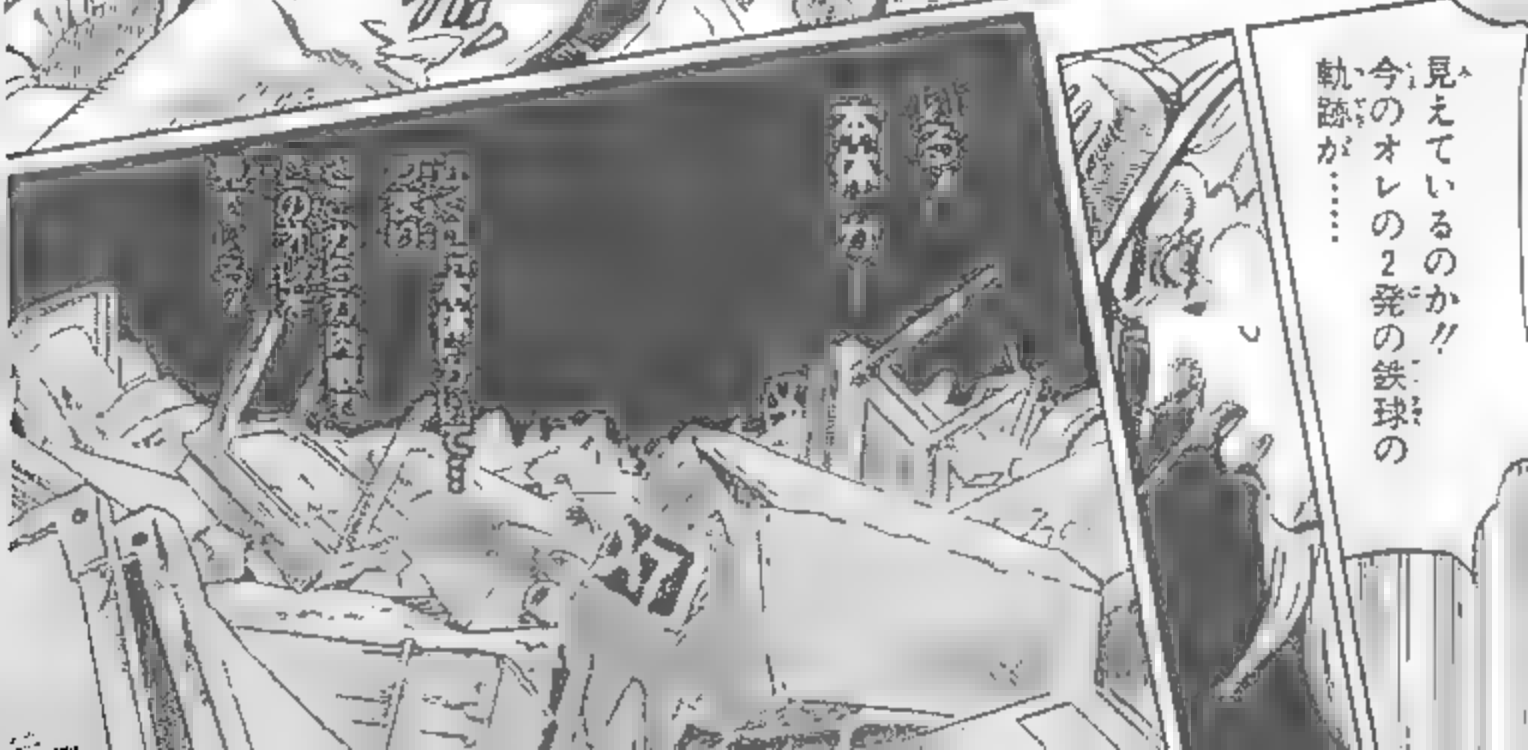
2人は「胴体部」を手に入れるためにこのゲティスバーグでコースをはずれた
全ては順調だ…いよいよ！
「総取り」の時が来た…
「頭部」を最後に残してこの我が国の「遺体総取り」の時がッ!!

『敵』か…
ザザ
ザザ
な…何だと!?
……
こいつは『敵』かッ!!

このクマはッ！
オレのクマだッ！
何だ!?
何でここにある!?
ガシィッ

沈んだ……!
!? クマが!?
影の中に… 沈んでどこへ向かう?……
……今のは本物なのか!?……
オレは今、攻撃されている!?
人は何かを「捨て」なくては前へ進めない
それとも……

……「拾って」帰るか……？
ジャイロ・ツェペリ
オラアアッ!!
ドゴ

うりゃあッ!!
『スタンド』!
部品でバラバラになるようにして一瞬早くかわしやがった

ニタリ
見えているのか!!
今のオレの2発の鉄球の
軌跡が……

何だ……？
何だ……
このゴミは……!?

この欠けた刃のナイフはッ!!

鹿肉はッ!!

キャンプした場所で捨てたはずだッ！
く…喰い込むッ！

ジョニィ……

早く…

すぐここから逃げるのよ…

H・P
必ず助けてやる
いいえ……わたしもジャイロも…
……助けようと思ってはいけない……
ジャイロを「助け」に行ってはいけない……
必ず……捨てなくてはならないハメに陥ってしまう…
お姉ちゃあああああん
お姉ちゃああああーん

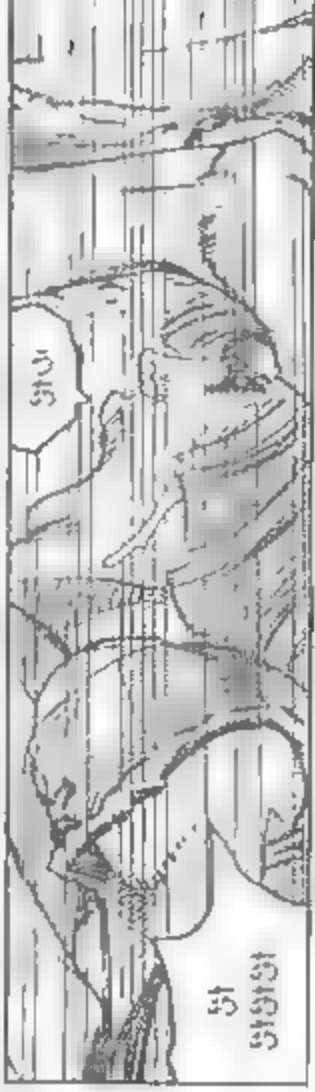
ブワァアアア
ーーッ

ひイイイ

お姉ちゃあああ
あーーん うわあああ

バッ

うわああああ
あああああ
あううっっ!!
ひイイイイ
うわアアアア
アア
あの日——
どちらから行こうと
誘ったのかは
覚えていない
——灰色熊に
出くわした——
木の実を
拾いに 弟と
山へ入ったら

普段
熊はもっと山奥に
いるはずなのに
……
今まで足跡さえ
見た事も
なかったのに……
そして
あたしは
……
……
あたしは…!!
うあ
ああああ
あ
ああ
あ
弟をさし出して
しまった
あたしの
この手で……
この手で弟の体を
押した……
押したのは
あたし…
あたしの両親の
大切な男の子
を……

・・・・・・知ってるのはあたしだけ
村の人はみんな…事故に遭った あたしと あたしの両親を気の毒がってくれた…
でも もう両親のいる家にいる事はできなかった
あたしが行ける場所は修道院だけだった
神様の下僕になるしか…許して欲しかった…
そして もしあの方の「遺体」があるなら
もし「聖なる遺体」をそろえたなら……
許していただけると思った
……あたしの罪を弟に許してもらいたかった

ゴゴ
でも……ダメだった
ゴ
……ここに「くつ」が落ちていたから……
ゴゴ
捨てて来たものからは……絶対に逃れられない
ゴゴゴ
あなたはまだ間に合う……ジョニィ！

今なら まだ
清められるッ！
清潔な水で
そのナイフを
洗い流してッ！
『心が
折れて
しまう
前にッ！』

ホット・パンツッ!!

「敵」に「遺体」を奪われてしまったという事か！……持ってたもの「全部」
そして
ぼくとジャイロもここへおびき寄せるために敵はH・Pを泳がせて使った!!
この建物の奥に敵がいる…ジャイロ!!
このナイフは…!!
間違いなくぼくのナイフッ！ぼくが「捨てた」ナイフ!!
この攻撃はッ!!

「水」で清めなくては
いけない……

「水」なんだな……!?
「水筒」!!
必ず助けてやる
『H・P』……

な…!?

なに……!?

ゴロ
ゴロ
ゴロ

ハア
ハア
ハアハア

い…今のはッ!!ウソだッ!!

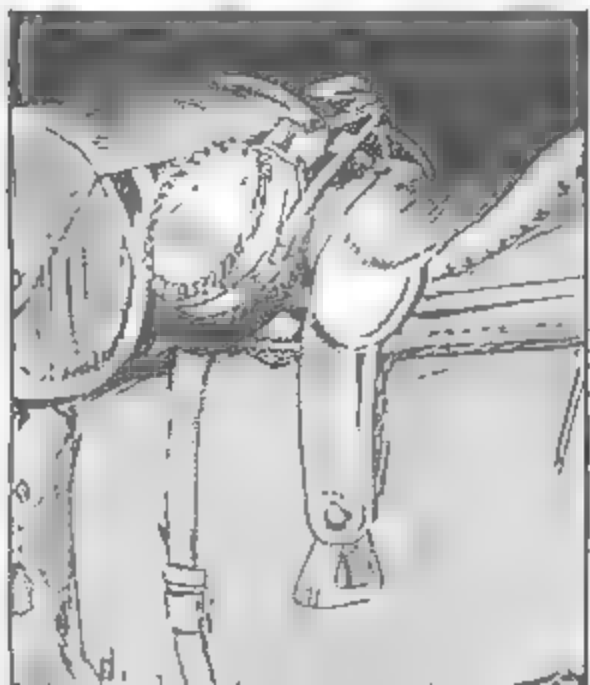
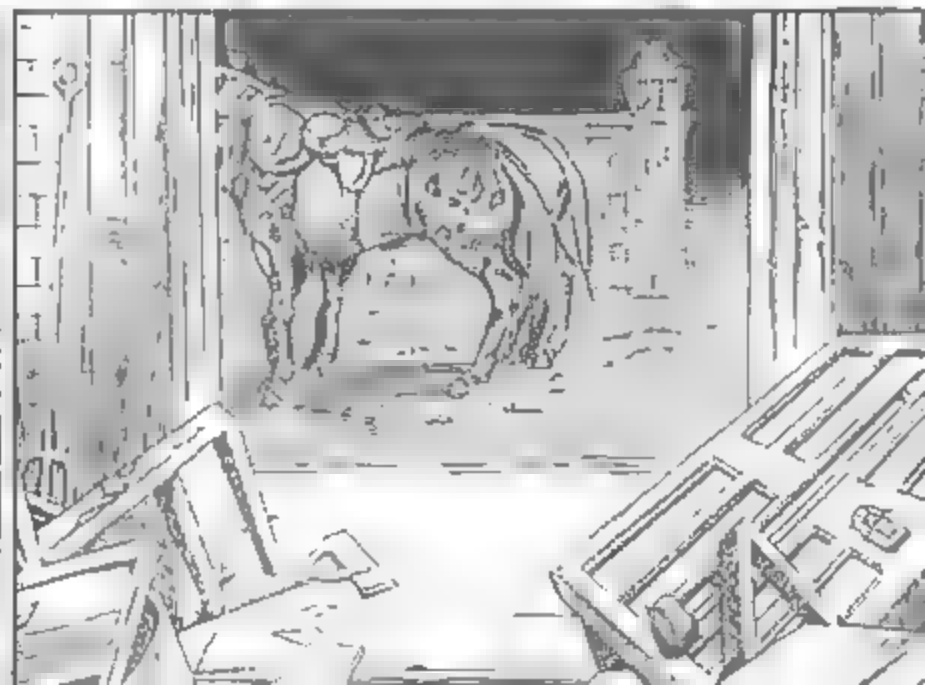
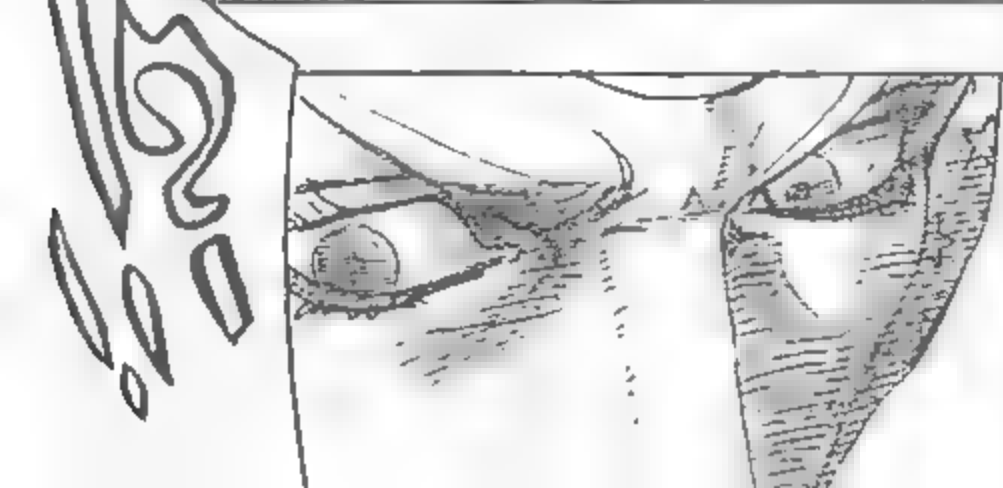
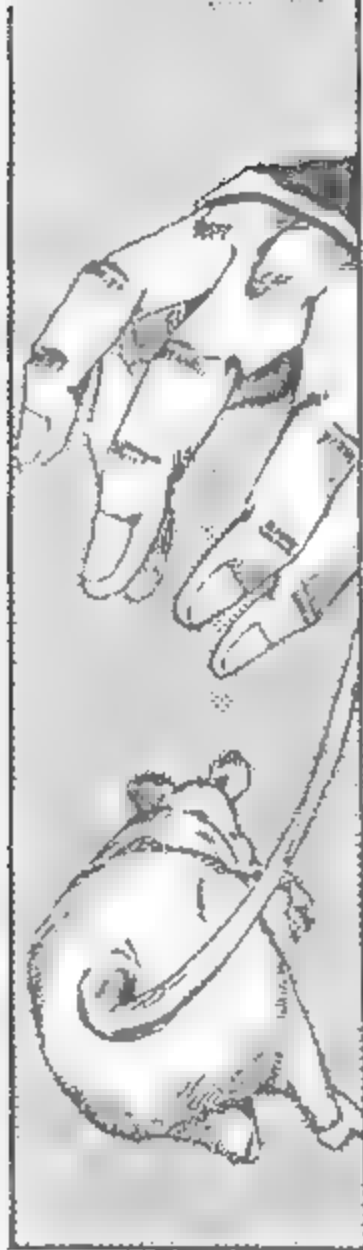
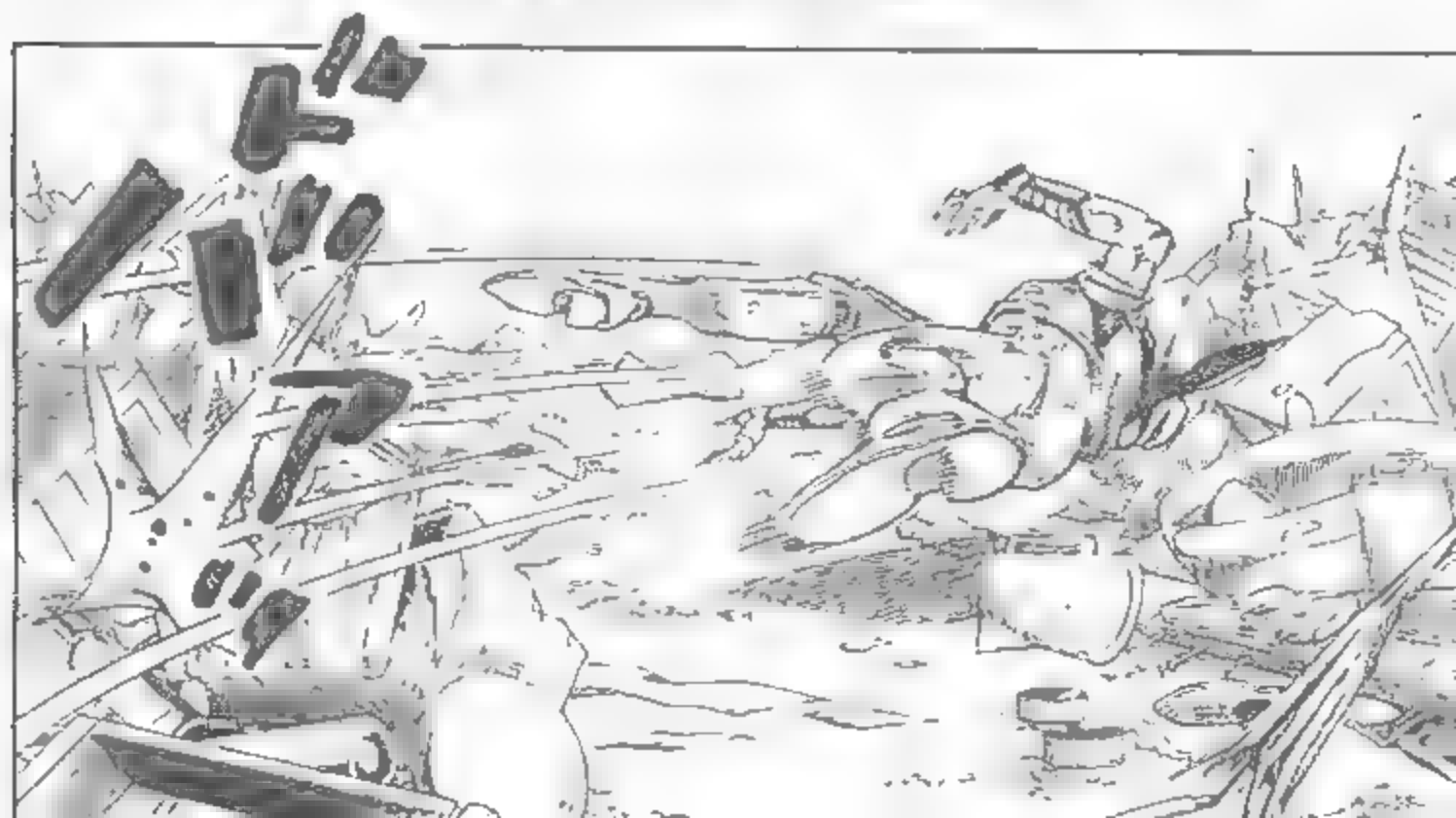
そんな事があるワケがないッ!

こっちに向かって来たッ!!

ドドドド

ドド

今のは『ダニー』!!

兄さん…!!

ドドドドド
オレの『鉄球』だ!…
…これら『全部』

誰か他人のものは・・・この中にひとつとしてない
全て・・・オレのだ・・・
だが何か・・・・・・!!
何か拾うのはヤバイ気がする・・・
・・・・・・これは「敵」の攻撃
(今さっき投げた2個は除いて・・・)どれかに触れるのは・・・クソ！かなりヤバそうだ

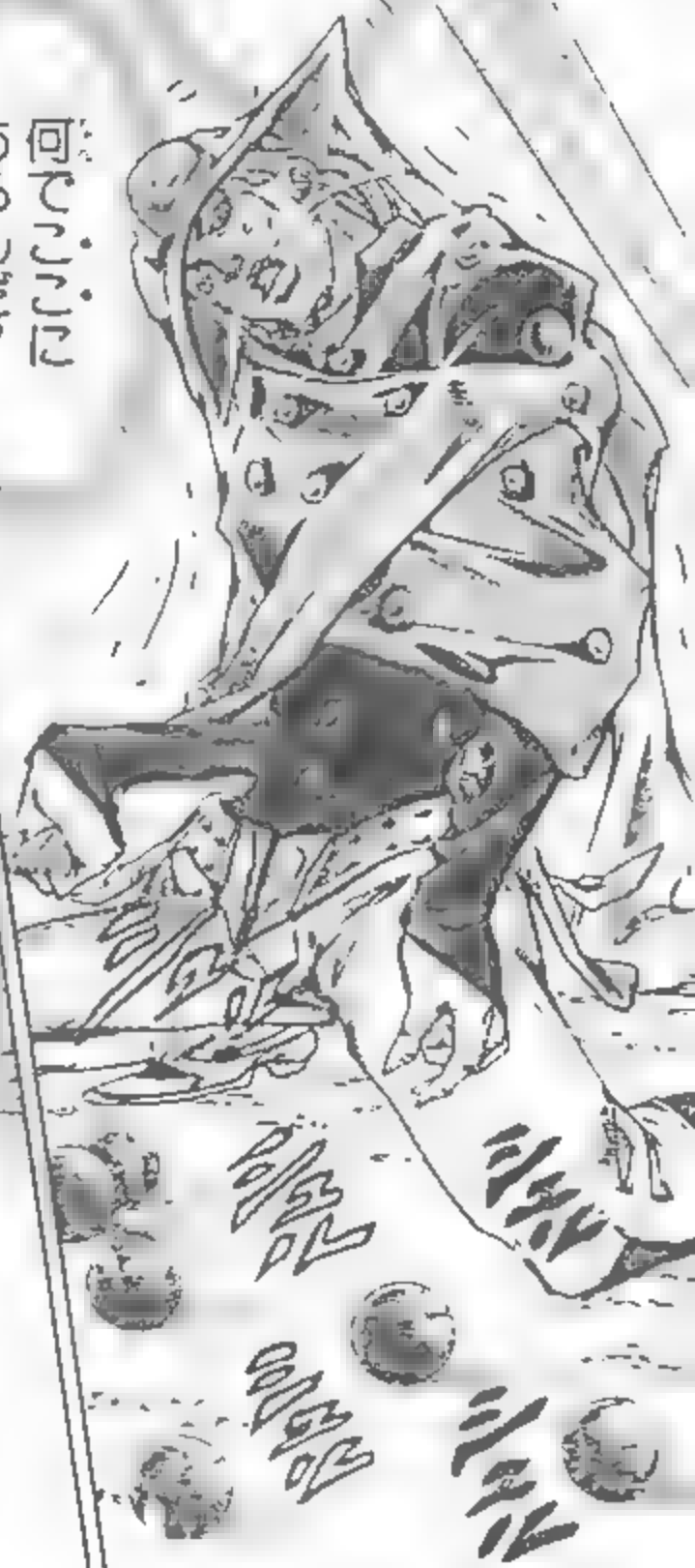
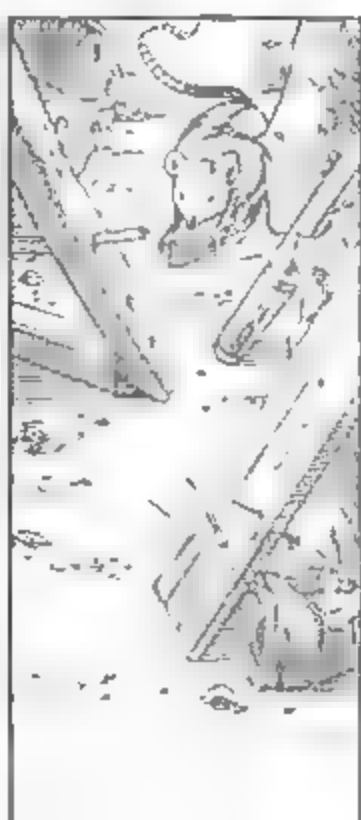
くっ
ジョ……
『ジョニィイ』
ィ!!

ジョニィイ!!
聞こえるかァ―――ッ
敵だッ!
近くに「本体」がいるぞォォォォォ
――ッ!!
「公平」に
行こう
スタンド戦は
――たとえば自らの
弱点を相手に教える
ような……
――「公平」さが

精神の力として最大の威力を発揮する
「卑怯」さは「強さ」とはならないからな
わたしの弱点はジャイロ・ツェペリ——「水」で清める事だ
信じなくとも自由だが——「罠」ではないやってみるべきだ
「清潔」な水で洗い流せば……君が捨てて来た罪から
解放されるぞ
ちなみにジョニィは向こうの部屋でもう知っている
てめえ……
ナメやがって…
ハアハアハア

これはッ！
この「鉄球」はッ!!
ジャイロ
何してるッ！
囚人の
動きを止めろッ!!
苦しがって
いるッ!!
鉄球を
もう一撃だッ!!
恐怖を
止めて
やるのだ!!
オレがッ！
これはオレがッ！

父のもとで死刑囚処刑をミスった時の…
この鉄球はッ!
……捨てたはずだッ!!
確かに「捨てた」ッ!
祖国で捨てたはずだッ!
何でここにあるんだ!
うおおおっ!!!
ジョニィイイイイイイイイ―――ッ

ジャイロ……!!
今のはジャイロの叫び声ッ!!

くそっ!!

またこっちへ近づいてくるッ!!

あれは「ダニー」じゃあないッ!

「ダニー」であるわけがない

これは「幻覚」だ!「幻覚」を見せられているんだ……!!

ぼくがいつも夢の中で見るやつと同じだ……そして「幻覚」だがあのネズミは止めなきゃあいけない

『撃てる』

ギュル
ギュル
ギュル

ふさいだ!!

ボッ
ボッ
ボゴオ

ドロ

ボトボト

やっ
やった!
命中したッ!

ガボッ

ジョオオオオオオ

ニィイイイッ

ニィイイイイ

ガボッ ガボッ

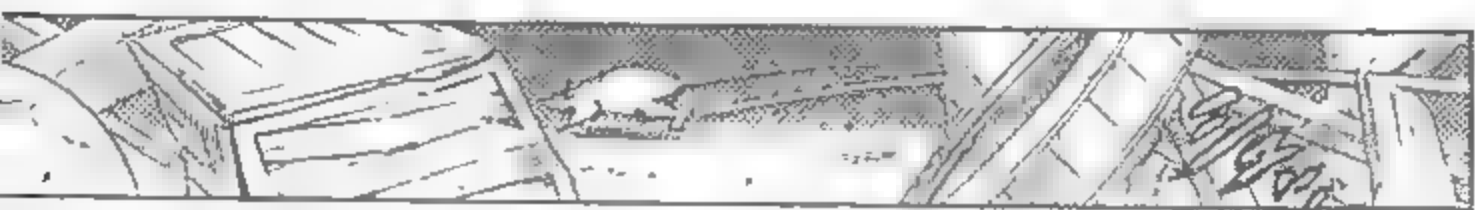
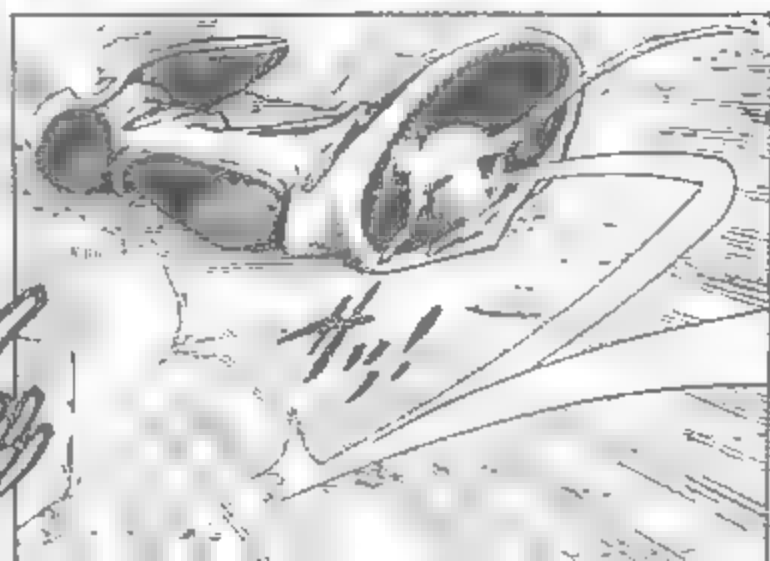
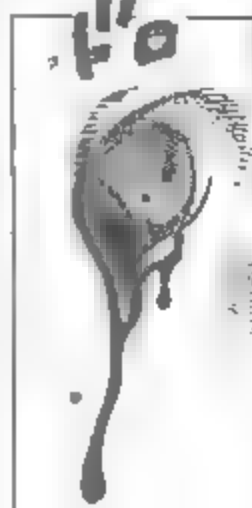
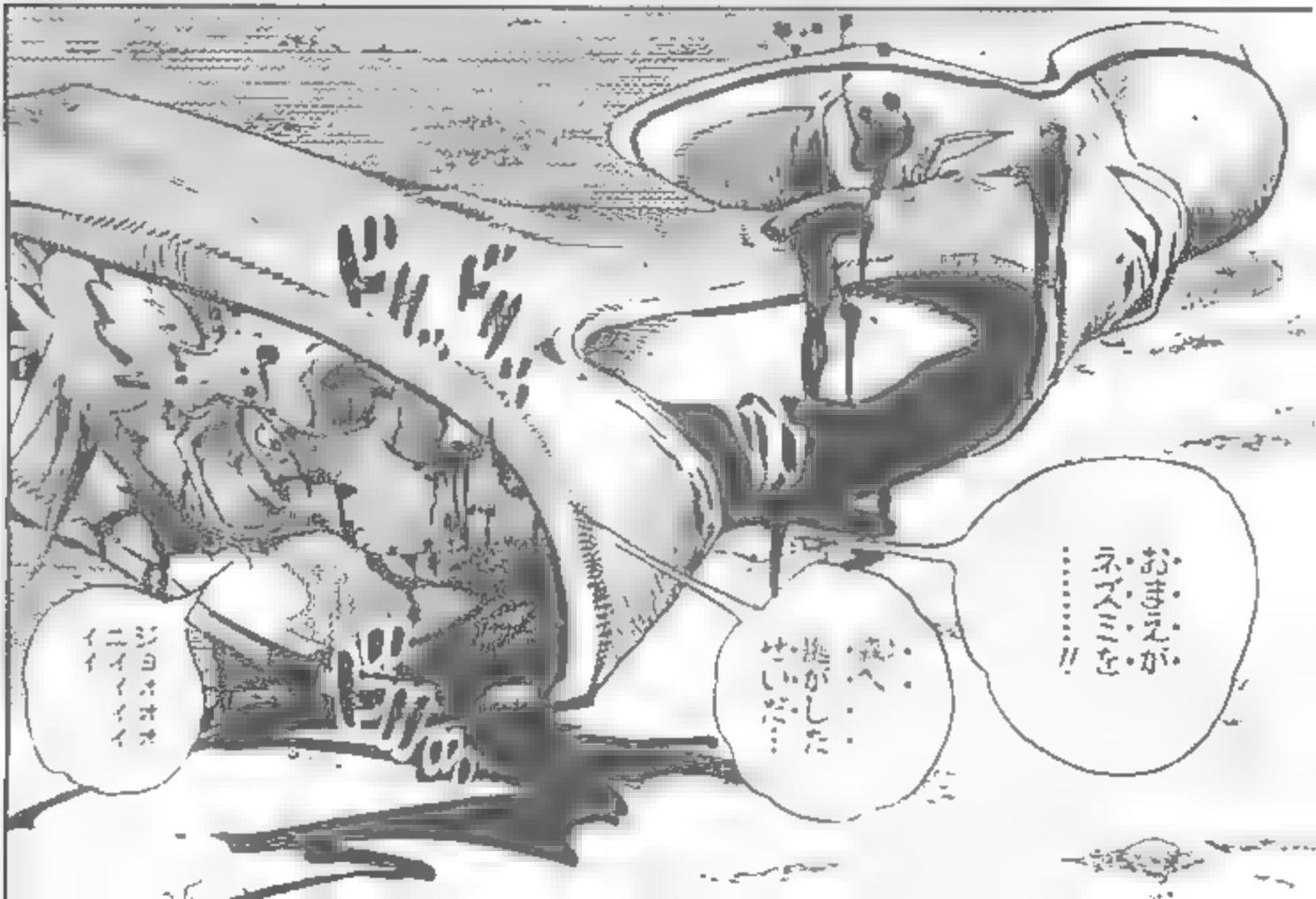
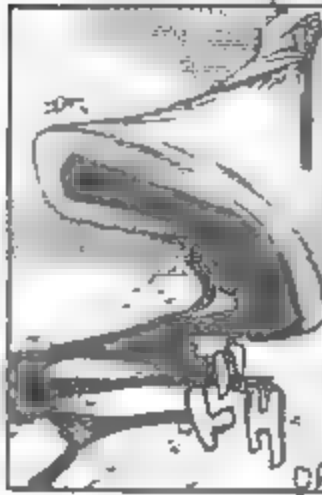
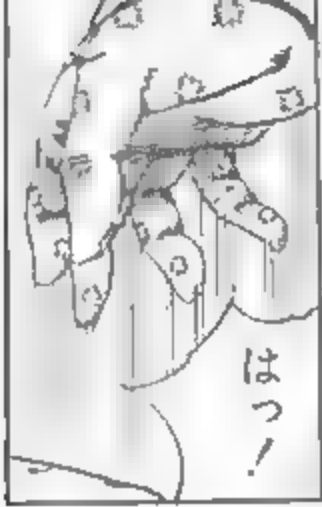
ジョオオオオオ

ガボッ! おまえ

はっ!

おまえが ネズミを……!!

森へ… 逃がした せいだ…

ジョオオオ ニィイイイイ イイ

はッ！ああああ
こ……これはッ!!

父さんの言うとおりネズミを……池に沈めていれば……
……あんな事にはならなかった
違うんなら……そう言ってくれ
兄さんはおまえのせいで落馬した
おまえがぼくを!!
おまえがぼくを!!

殺したんだああああ——ッ

おうおおおお
おおおお
あ

ああああああああ
このブーツは！
……あの時の
兄さんのブーツ
だッ………
「神よ
あなたは
連れていく
子供を
間違えた」
「子供を
間違えた」
………

うくぁあっ
「水」……
「水」て……
き……
消めるのかッ！
……
あそこまで「水脈」！
なんとかして！あそこまで……!!

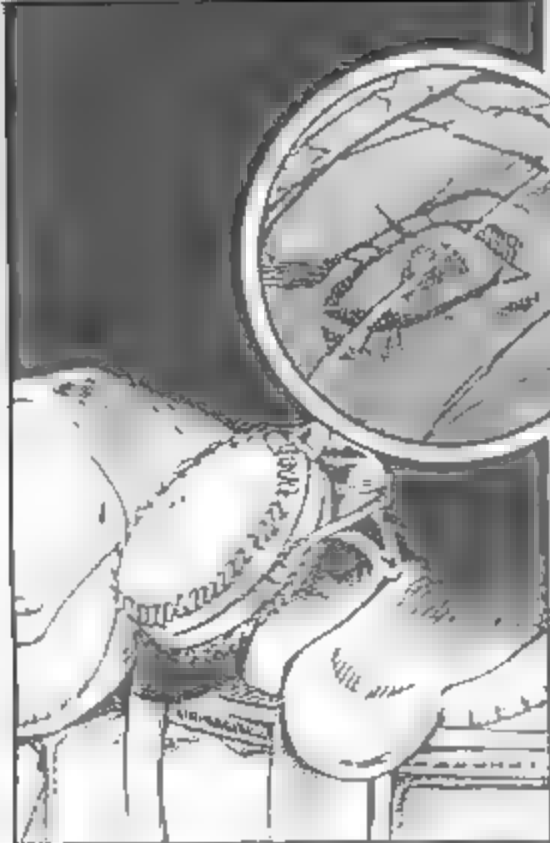
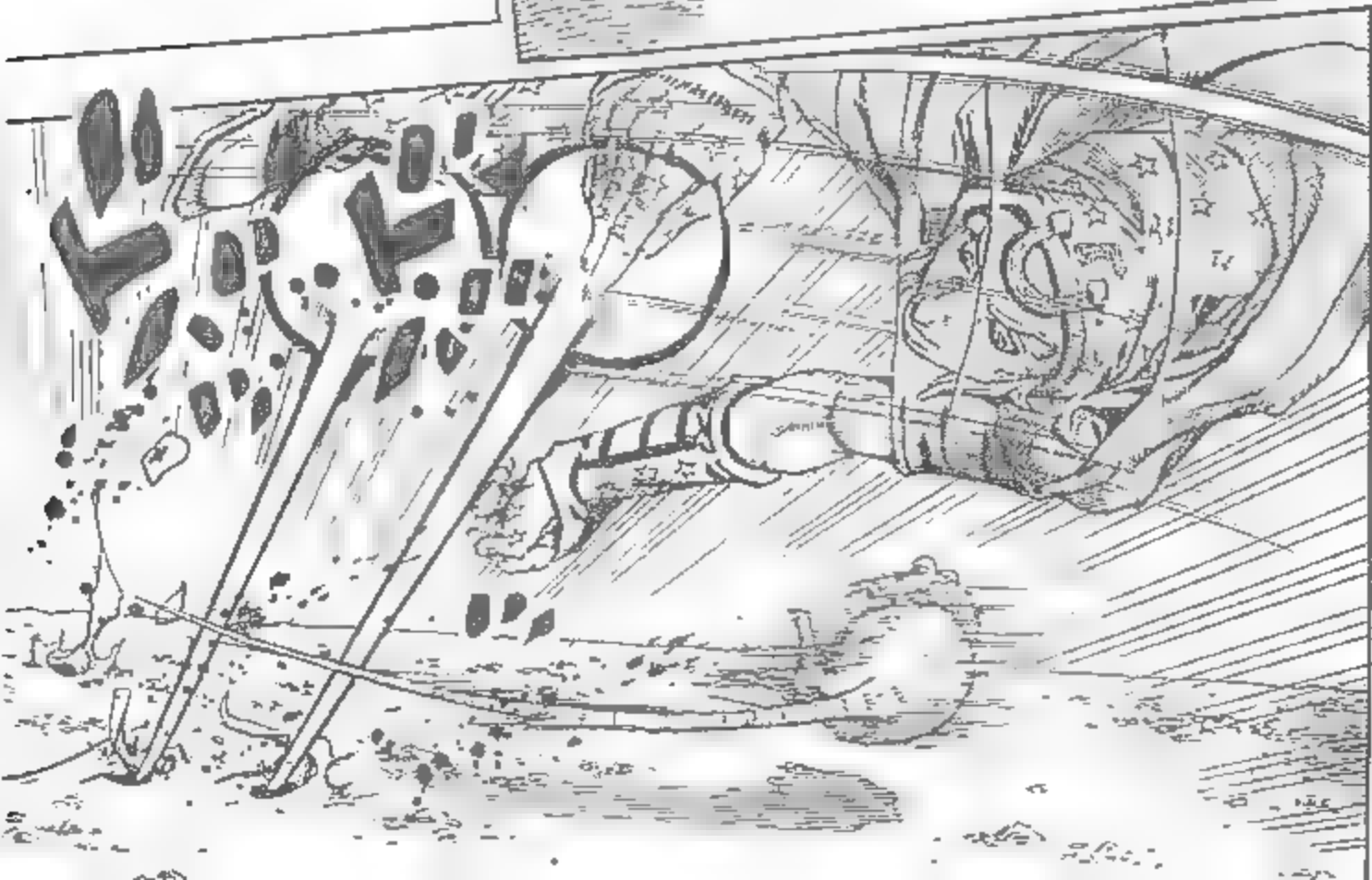
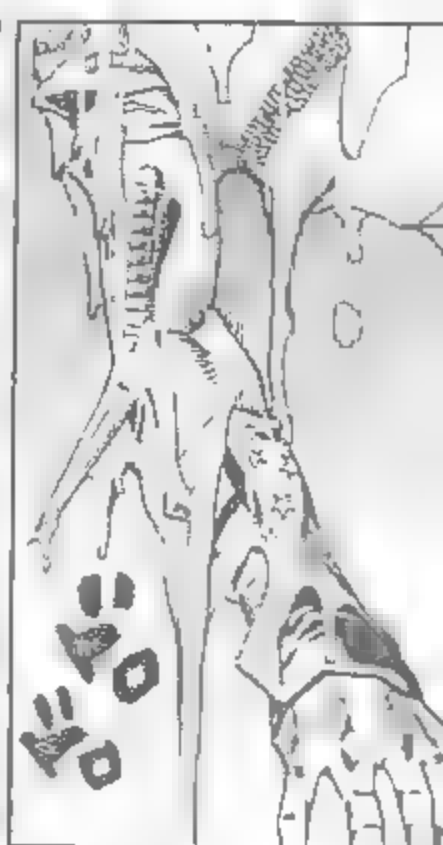
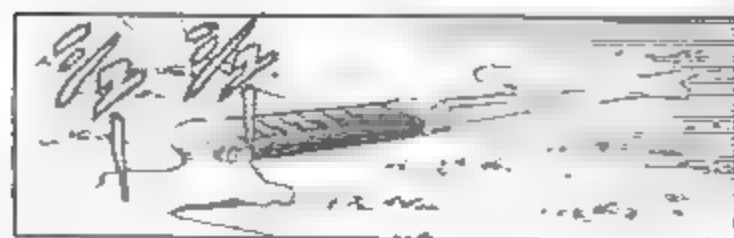
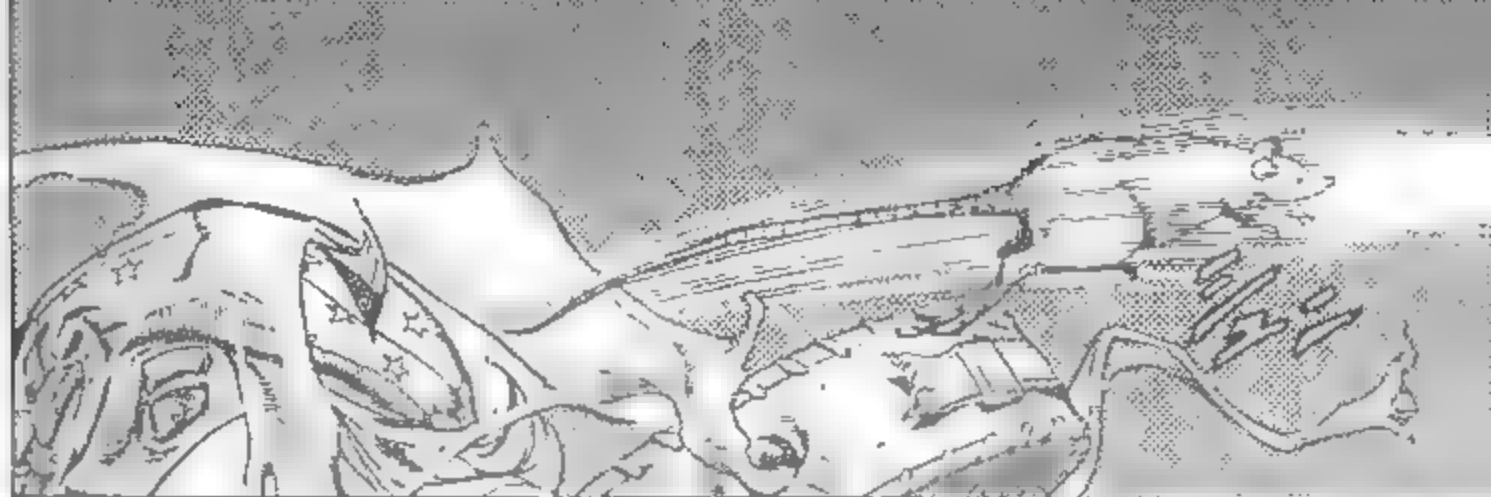
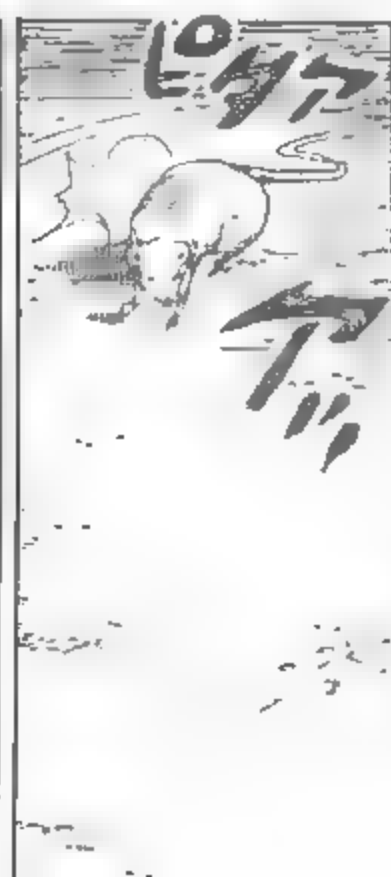
バシュ
くそオオッ!!
この『敵』ッ!!
絶対にブッ殺してやる
うううううウウ――――ッ!!

ド
ドド

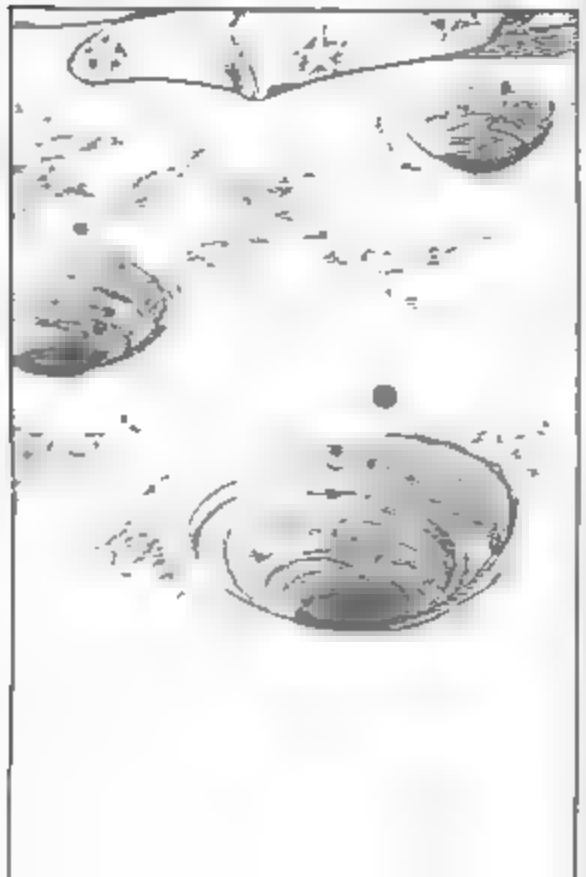
さっ

くそ……「白いネズミ」
だが今……爪弾で狙ったのはおまえじゃあない
おまえは必ず仕留める……
だがその前に撃ち抜いておくものがあった
それを撃った

ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

ゴォオオオ
オオ
オオオオオ
ピタァ
ハァハァ
「水商」もだが……
そして狙ったのは水商だけじゃあない
この建物には"古井戸"がある

地面の下のそんなに深くない所に「水脈」があるって事だ

10メートル下とか

そんなところにな…水が走ってるって事だ

ゴボッ
ゴボン
ハァー ハァー
ハァー ハァー
「清める水」は十分 手に入るぞッ!
ジャイロのところに行くぞッ! この「敵」の持つ遺体は手に入れてやるッ!!
………
これでわかった…「両脚」を体の内に持っているのは……
ジョニィの方だ

#58 シビル・ウォー その③

ゴポポッ
ゴポポッ

「清める水」は手に入ったッ!!

ポケットには「爪弾再生」のためのハーブもあるッ!

ゴゴゴゴ

モグモグ

ゴボッ

また両手指10発撃てるッ!!

シュッ

く……
ウウ…
心が迷ったなっ……
ジョニィ・ジョースター
撃つのはやめなさい

!?
よいな……
心が迷ったらだ……
撃つのはやめなさい
「新しい道」への扉が開かれるだろう……

な⁉
何だッ⁉
今のは⁉

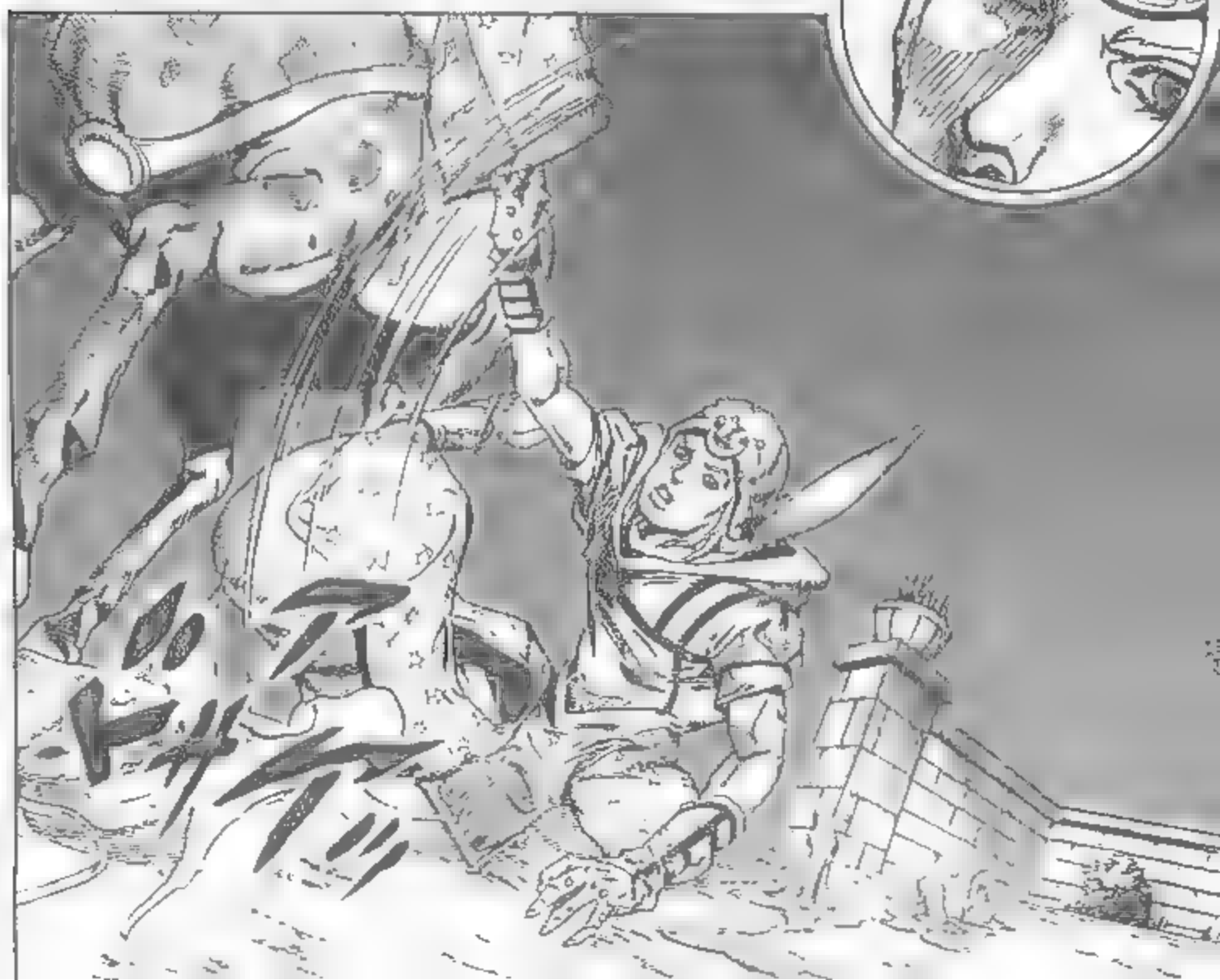
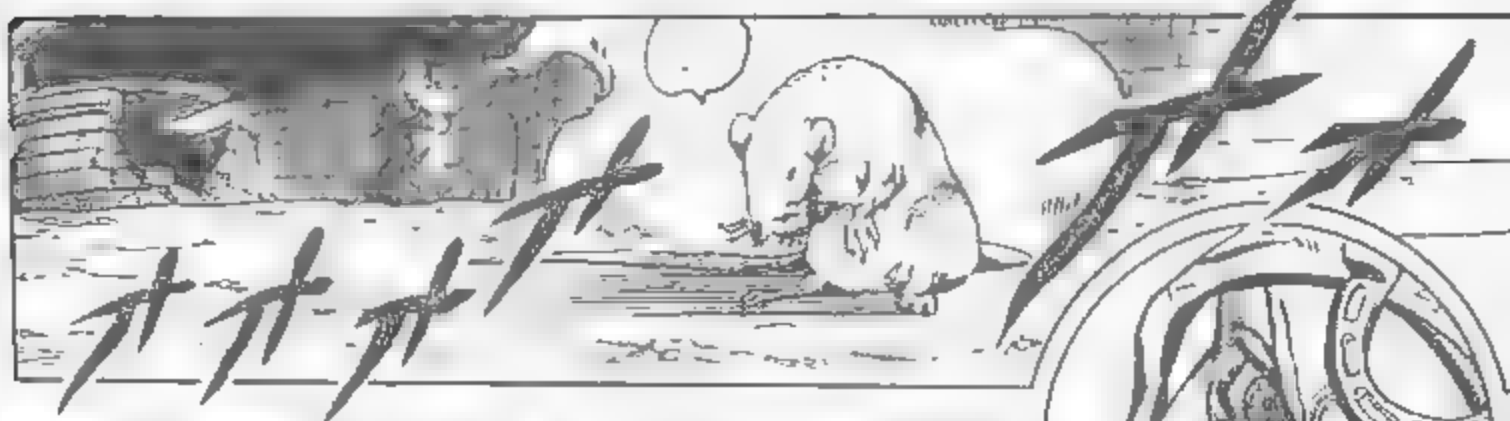
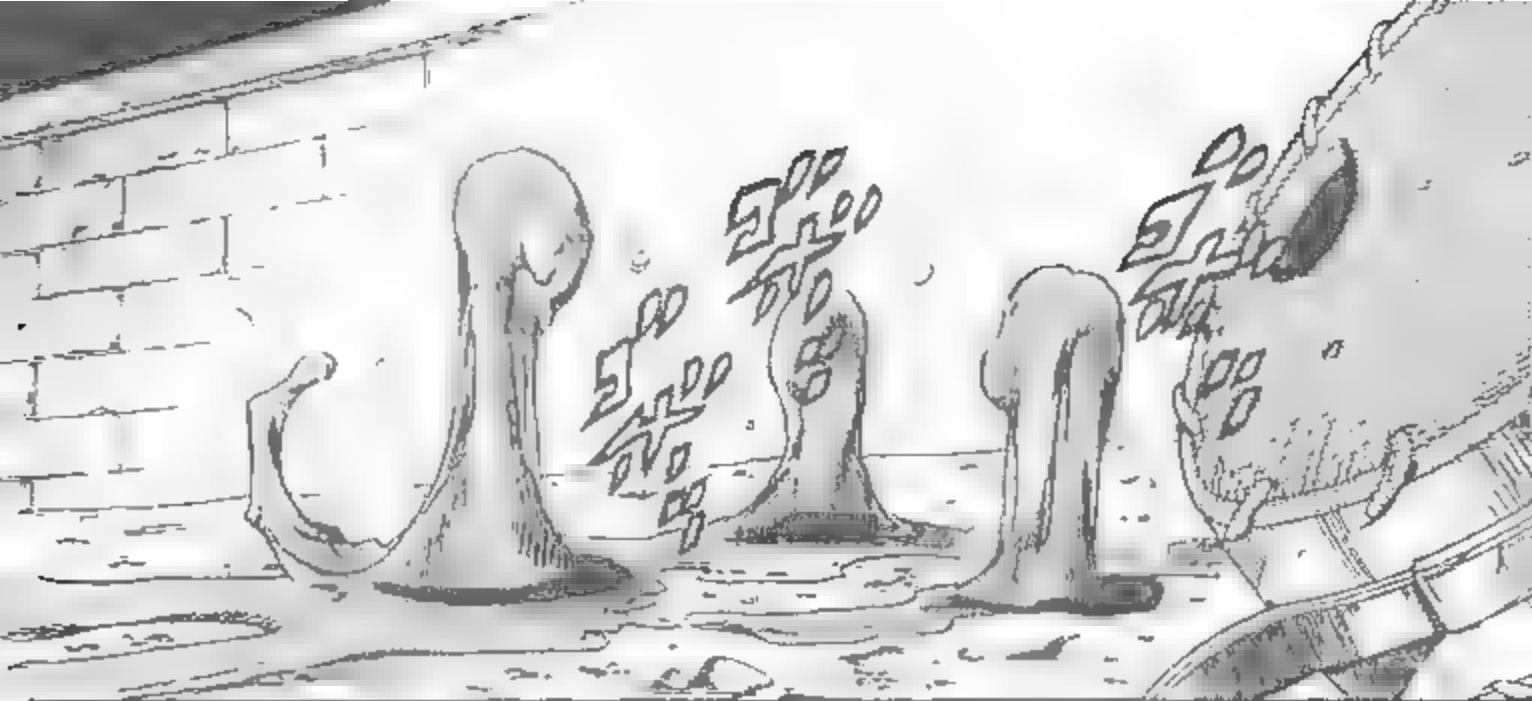
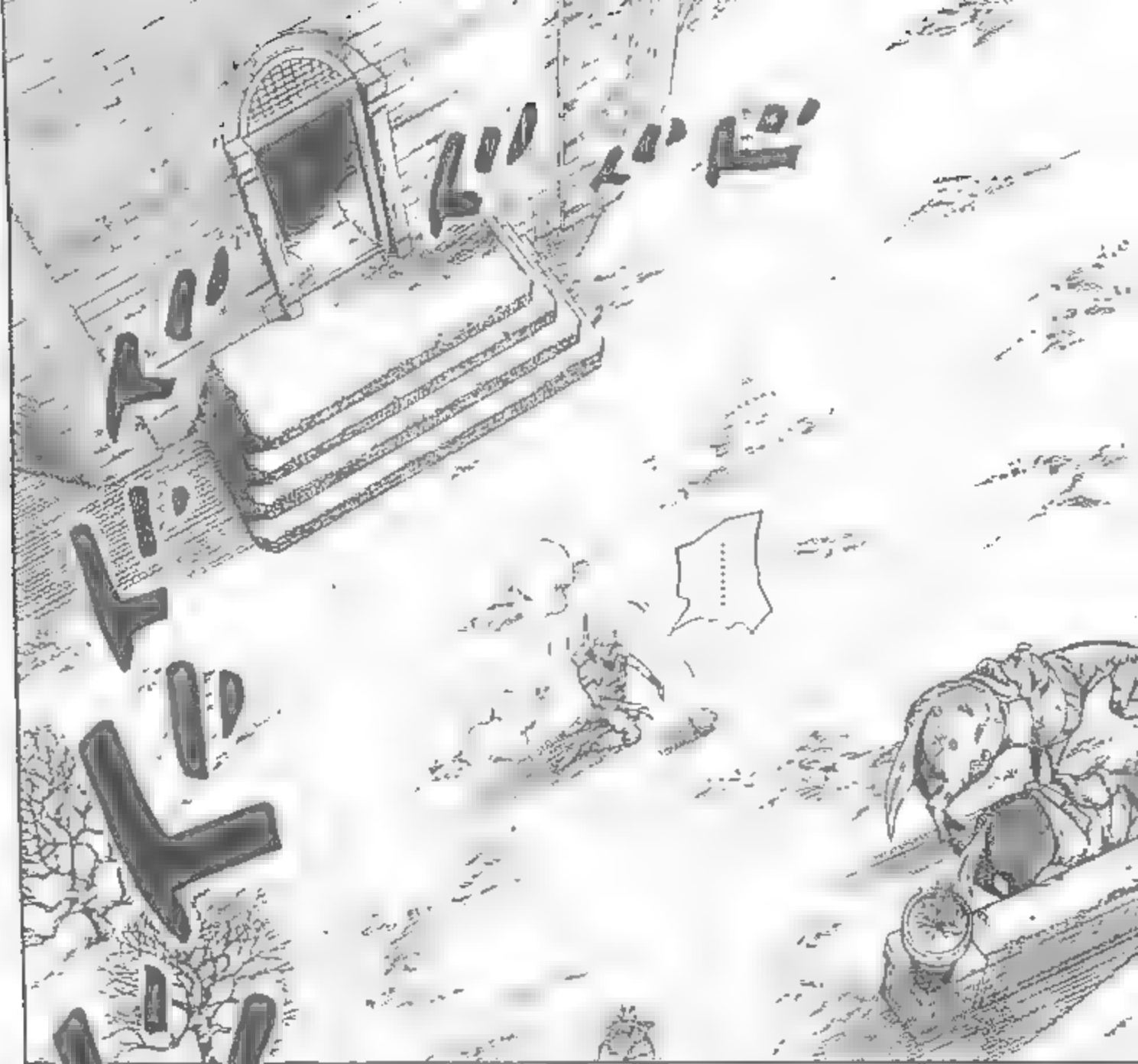
いっ!!

今
後ろに!!
何だッ!?

ま…また
幻覚かッ!?

いや
違うッ!!

確かに今…
背後に…
誰かいたッ!

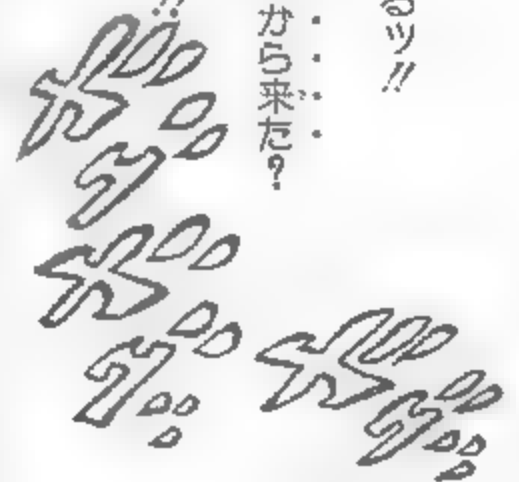
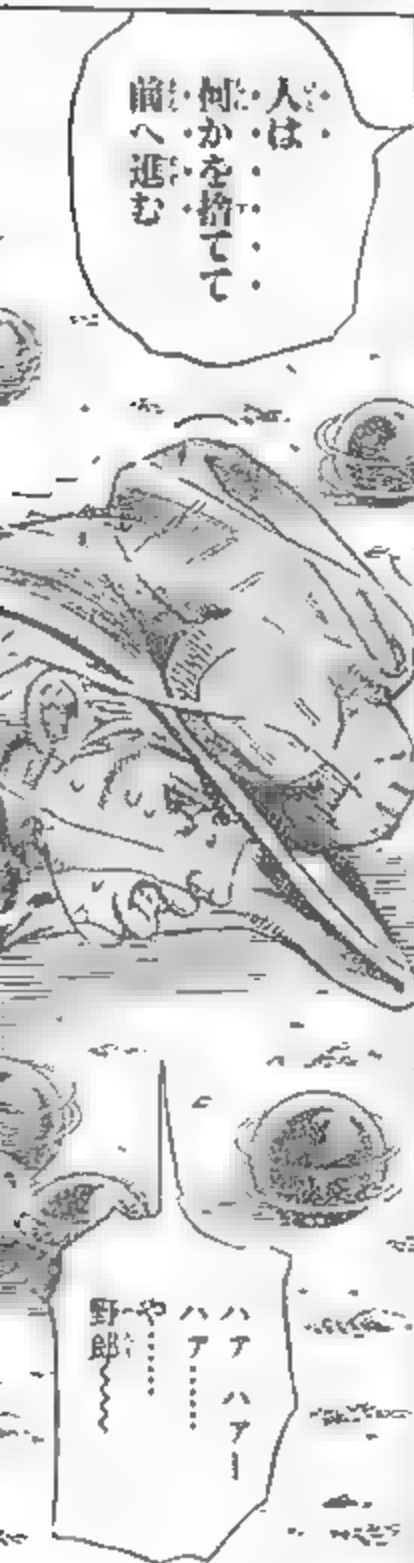
幻覚とは何かが違うッ!!
息遣いと体温があったッ!!
男がいたッ!! しかもッ!

しかも ぼくの動かない両脚も
いったい何なんだッ!!
ケイレンしている……
こんな事なんか今まで
一度もなかつた……
脚が動いているッ!!
今の男はッ!!……
いったい どこから来た?
まさかッ!!
はッ!

ドババババ
ドバババ

ジャイロ
そこへ行くぞ!
「両脚部」の遺体を体内に持つのは
ジョニィ・ジョースターの方…
…という事はつまり

ザッ

ハァ

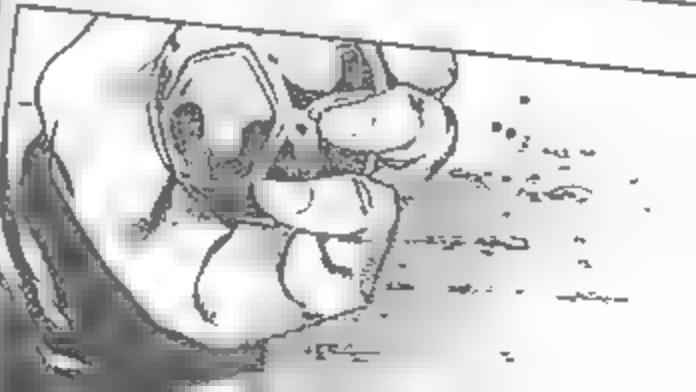
ハァーッ
ハァーッ

これから
とことんジョニィに
「追い込み」をかける
という事だ

手を抜くと
こちらが
やられる

「遺体」のためだ……
覚悟して
もらうぞ…

本番はここからだ
我がスタンド
「シビル・ウオー」の攻撃は
これより完成される

人は……
何かを捨てて
前へ進む

ハァ ハァー
ハァ……
や……
野郎〜〜〜

ジャイロどこだああああ——ッ
ジョニィ

ジョニィ……
「本体」がいるぞ
ジャイロ!!
・・・そこかッ!?
ジャイロ!?・・・そこに・・・いるのかッ!!
近くに「本体」がいる!
「本体」を撃てっ!

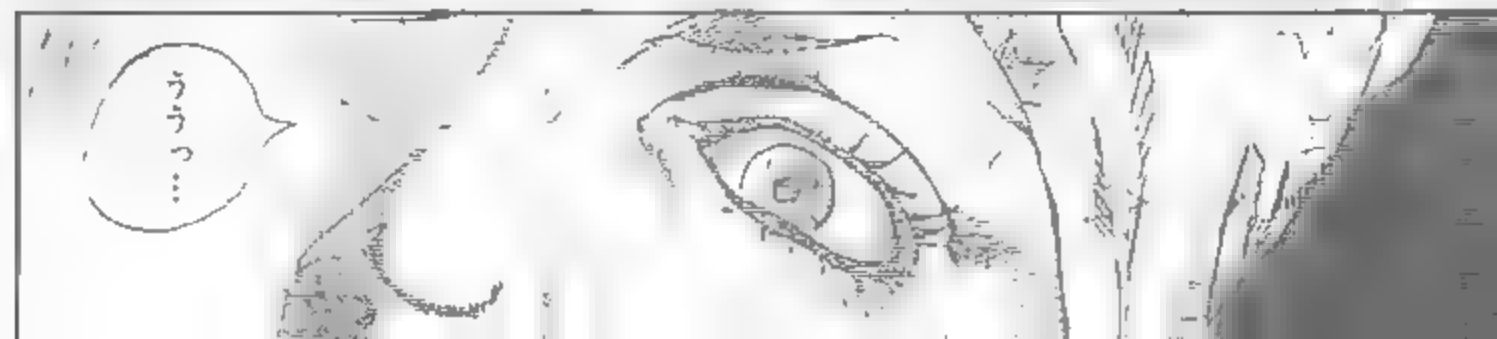
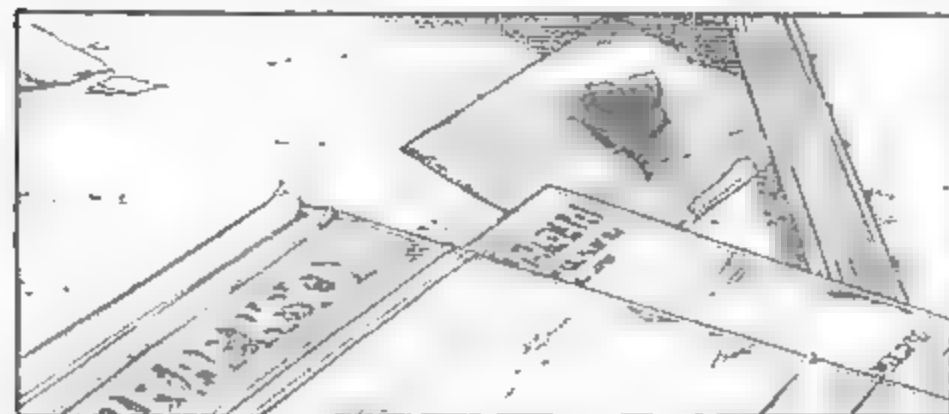
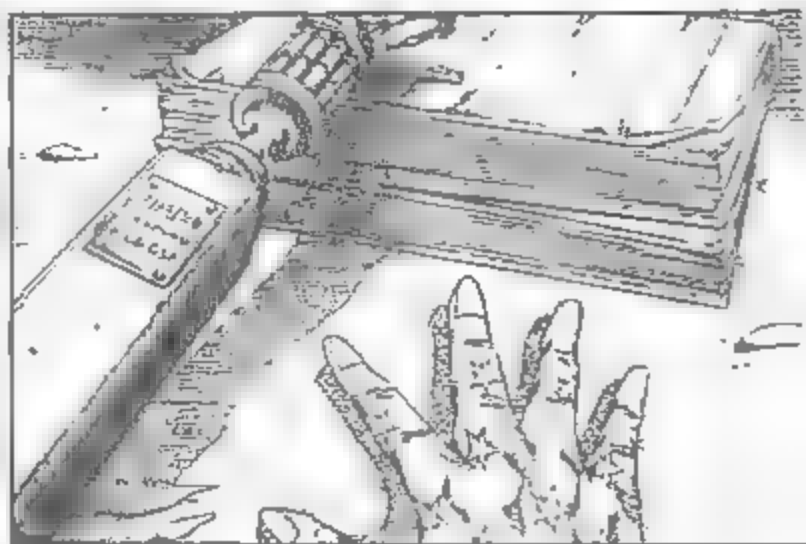
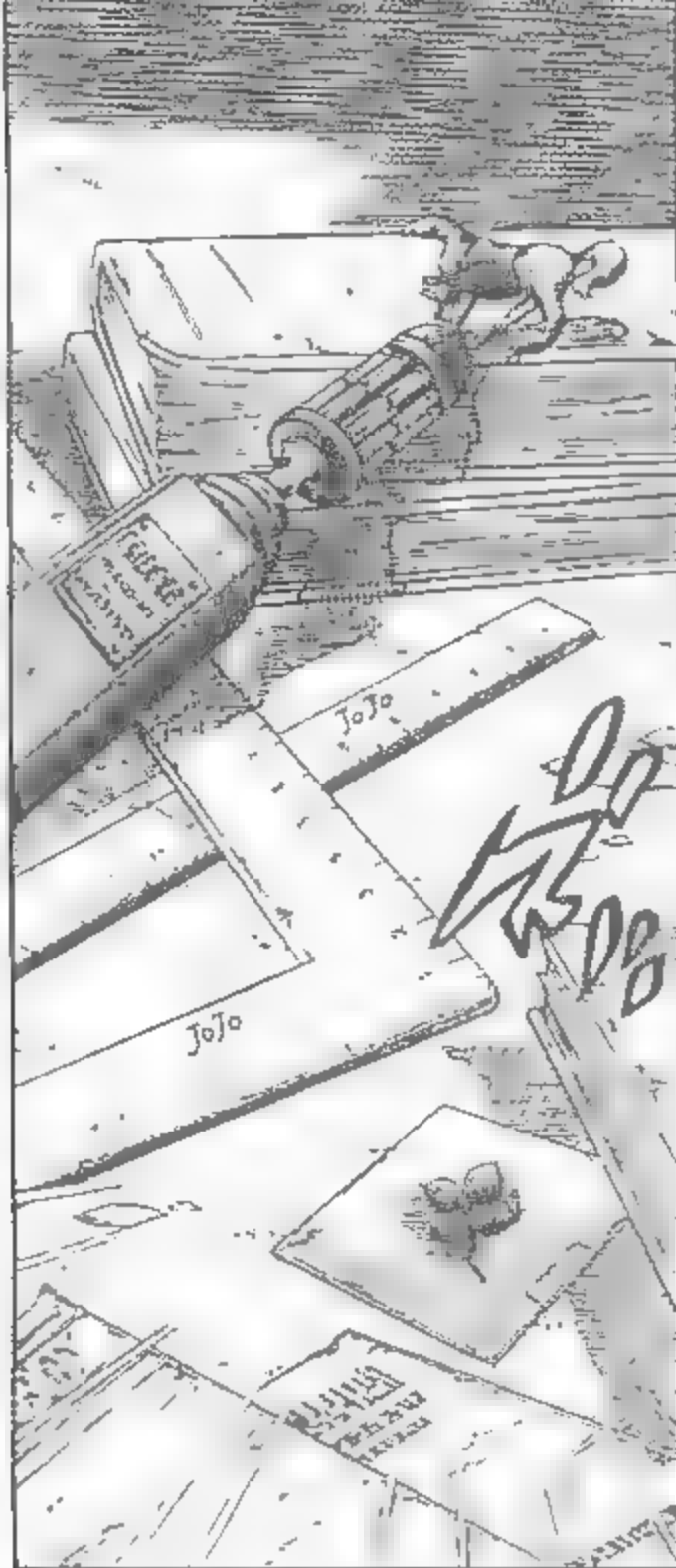
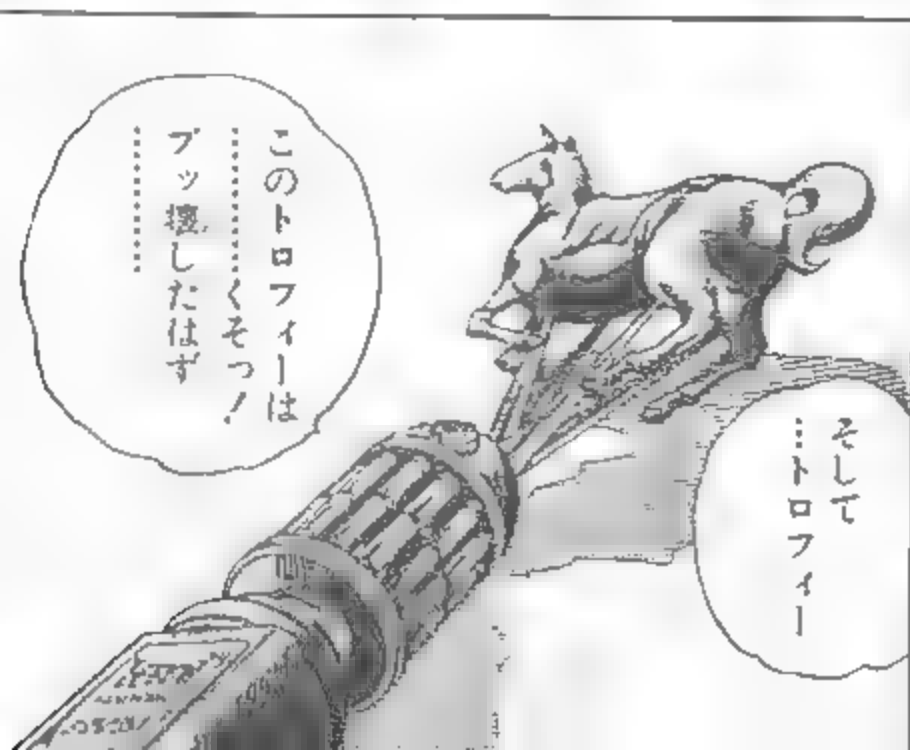
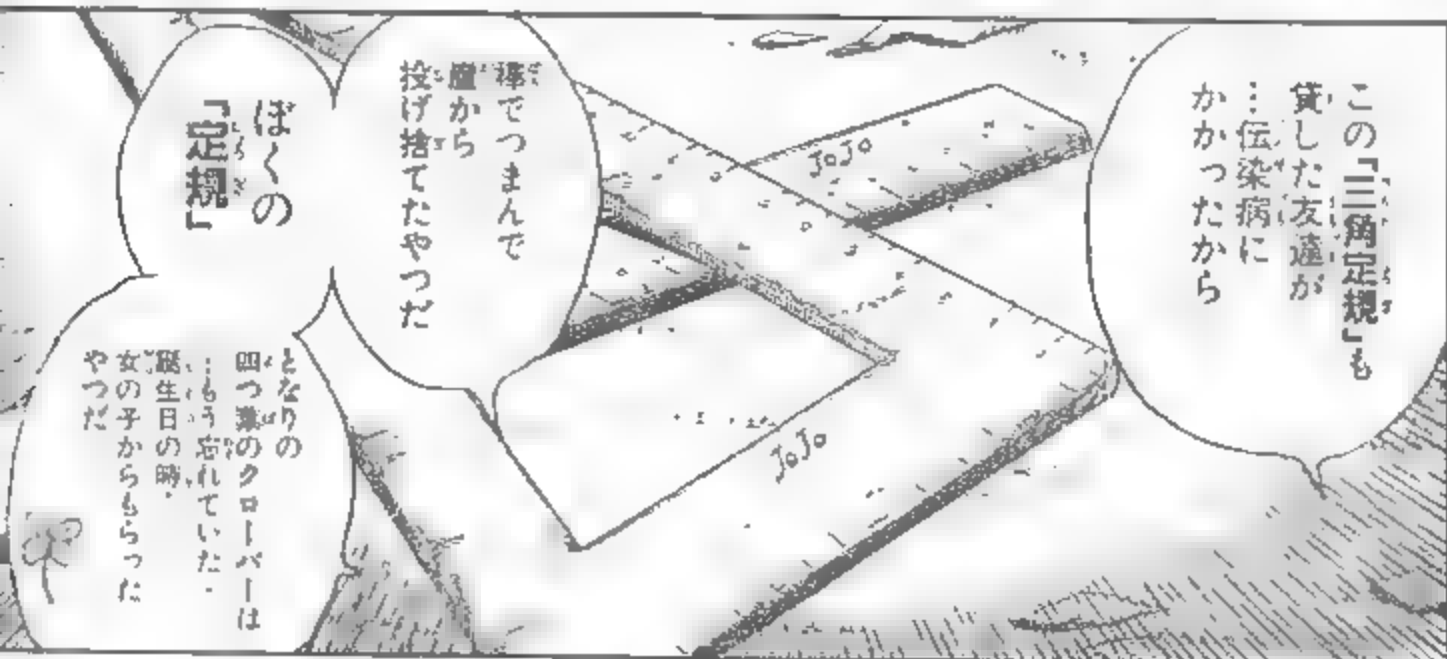
……
「本体」を殺る
……ああ……!!
……!!
しかし「本体」も
だが…
あの白ネズミとは
ここで決着を
つける!
白ネズミを撃たなくては
……ここで「消さ」なくては
きっと「本体」まで
たどり着けないだろう

うつ…

こ…

この「本」は……

こ…これは！…学校へ行ってる時途中で読むのをやめて捨てた「本」だ

全部ぼくの「本」だ

Dioに勝てなくて
2着だった時の
トロフィーだッ!!
な…何だ？
全部だッ！
ここにあるゴミは
全部!!
ぼくが今まで
捨てたもの
だッ!!

はっ!!
ううっッ!

ドグシャ
はッ！
や……やったぞッ！
命中したッ！
消えていくッ！

ギリ
ギリ
ギリッ
うぅっ…!!
ハァハァー ハァーッ
こっ…これはッ!
と…父…!!
神は…
……連れていく
子供を
間違えた…
なぜ
ニコラスの方が…
あいつが落馬なんか
するはずがなかった
……………

あああ
ああっ 父さん ……
抱か 一人逃れて 行かれるなら お前の方が 良かった!
ニコラスは おまえのせいで 死んだのだ
や… やめろォ… げ…幻覚だ……
父さんの わけがない 父さんは ケンタッキーで 生きている……
これは 「白ネズミ」と同じ ぼくの幻覚だ

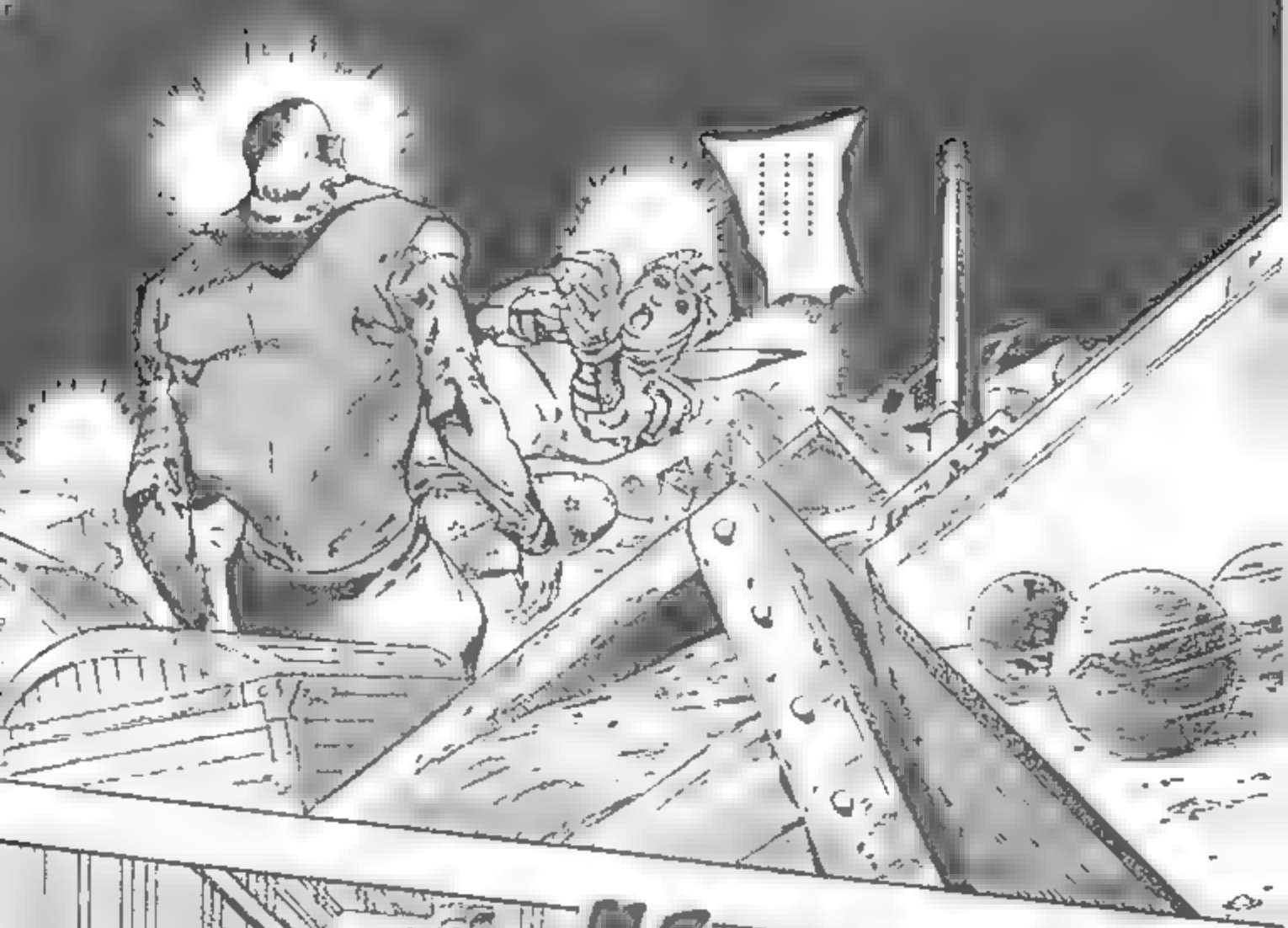
く…くそッ！
う……
撃ってやるッ！
これはスタンド攻撃!!
この幻覚に触られたら
終わり！
「撃てる」！ こいつを
「爪弾」で消してやるッ！
心が迷ったなら
撃つのはやめなさい
成長するのみ……再び
「新しい道」への扉が
開かれるだろう

ま…
まただッ!!
誰だ!? 今のは!
まさか!!
まさか・あなたは・
……!?
「イエス様」
……!?
あの「聖なる」遺体は!!
い…いや!
そんなわけがない!!
しかも「撃つな」とはどういう事だ?
……
撃たなきゃやられる
……
こいつは「敵」!
スタンドなんだ!

ドー
うわああああああああああ

わあああああ
ああああ
父さん……
ジョニィイイイイ
イイイイ
ハアーー
ハアーー
うう…
ハア！
く……
来るな
撃ちたくない……
こ…来ないで……
この「息遣い」は…
この感覚は…
ハア
あぁ

父さんのものだ
ドドドドド
ハァー
あああ
ハァ
ド
来るな！
近寄るな……
捨てたのは ぼくの方じゃあない！
あなたが ぼくを「見捨て」たんだ……
「あなたはレースにも来なかった」！
「銃で狙撃された時も病院に見にさえ来なかった」!!
ドドド
やめろッ!!
来るなあああああ——ッ
ドドド

ジョニィ
よく
こらえた！
今だ！
「本体」の位置が
わかったぞ
鉄球の回転で
地面をエコーで
捜していたッ！
おまえの
左後方だ!!
おまえにとどめを
刺そうと ゴミの陰を
移動しているッ!!
「位置」を感じるッ!!
そこだッ!!
止まったぞッ！

……
当たった

うぐ
ああっ

か……
やった…
……ぜ
やった!
ジョニィ!
ハァ
ハァ
ハァーッ

グハッ
そう……
いいぞ……ジョニィ……ぶつぐつ
これでいい……
わたしの最終攻撃は……ついに……
「完成」したな……
……ぐつ……人は……
何かを「捨てて」前へ進む
!?

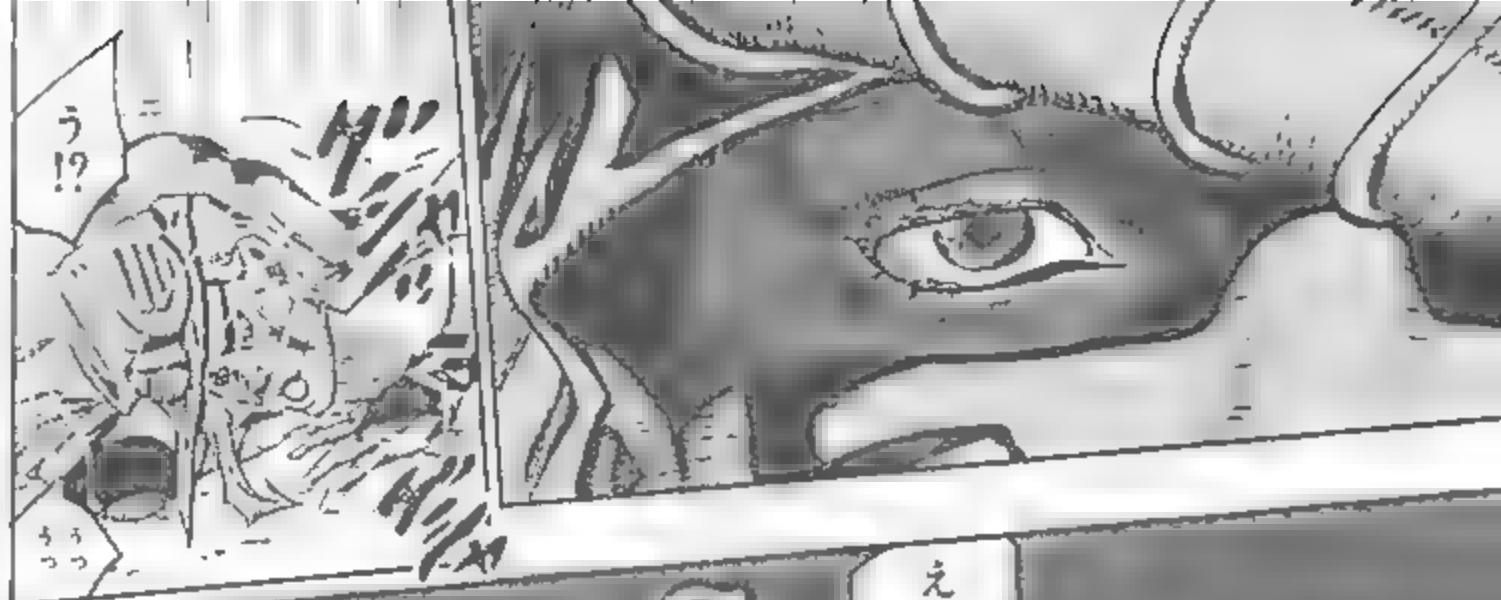
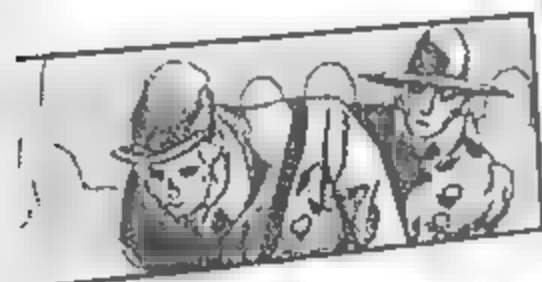
これから……ジョニィ
おまえはわたしを「捨てて」……前へ進む……
…………
私を「撃ち殺す」という事は
……そういう事だ
ついにおまえは……「わたしを殺した」
わたしを「捨てた」んだ……わかるか？
だから……これから……わたしのものを……全て おまえが……ジョニィ・ジョースター！『おっかぶるんだ』！
わたしが最終的におまえに……やって欲しかったのは……これなんだ
わたしが捨ててきた過去の罪を……全て おまえが

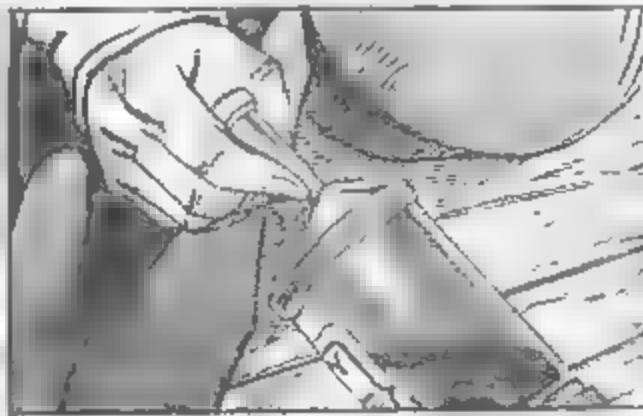
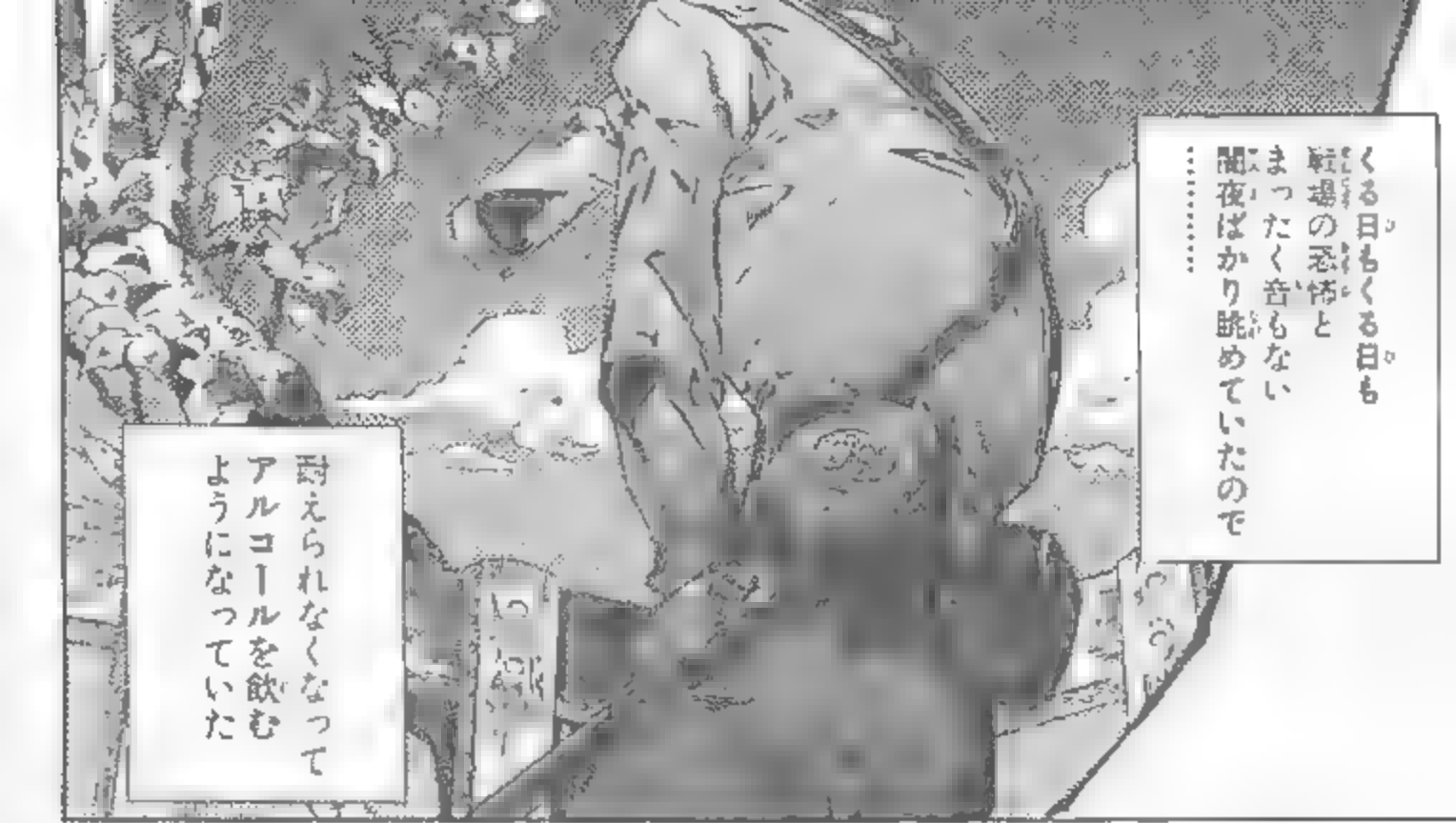
これで わたしの過去は「清め」られた
何の話だ……？
今のは!?…… こいつ 何を言ったんだ？
だから「清め」られた…と言ったろう

う!?
ドギュン
うっうっ
え!?
ついに我が「スタンド」
「シビル・ウォー」は………

『完成』したのだ
こいつ!!
……

これが……

おまえがおっかぶった罪だ

うぐあっ
何なんだこれはあああ——ッ!!
……このわたしも…これまでたくさんのものを罪深く「捨てて」前へ進んで来た
……普通の人々以上にな
自分の罪を「清め」たかった
だからこんな「スタンド」を身に付けたのかもしれない
そして「遺体」を手に入れるため
……おまえに全てをおっかぶせてな…
わたしを殺した瞬間!
つまりここで捨てたものはおまえのものとなるから
わたしは救われた

あれは一八六三年の事だ…
………あの場所、あの時
当時──わたしは身も心もボロボロにすさんでいた
SKEY
あの若き日──わたしはドヴォルザークのような音楽家になりたかったのに──戦場に召集され──
もっとも辺ぴな場所の見張りの任務を命ぜられた

くる日もくる日も
戦場の恐怖と
まったく音もない
闇夜ばかり眺めていたので……

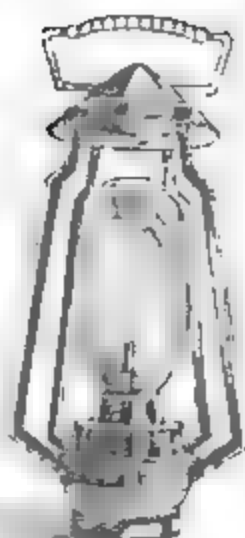
耐えられなくなって
アルコールを飲む
ようになっていた

そして
寝過ごした
そんな時
だった

「敵軍」が
やって来た
のは——……

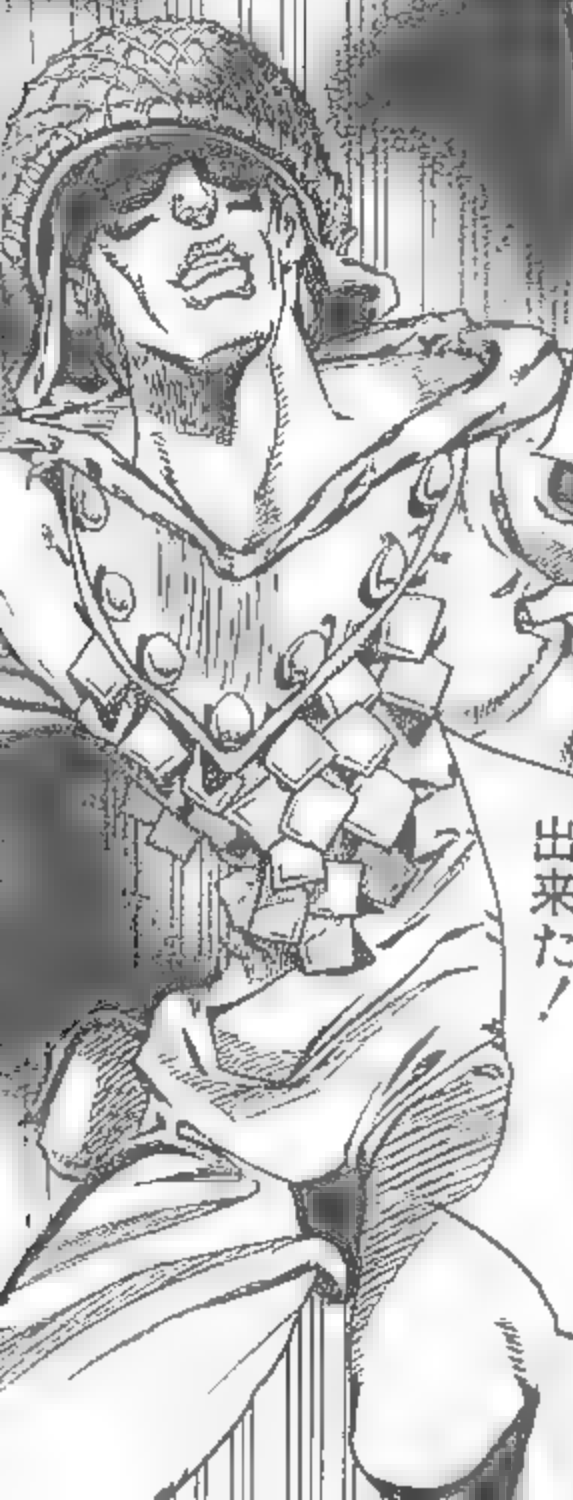
目を醒ました時、
すでに——
わたしの潜む木の下を
「敵軍」は通過していた——

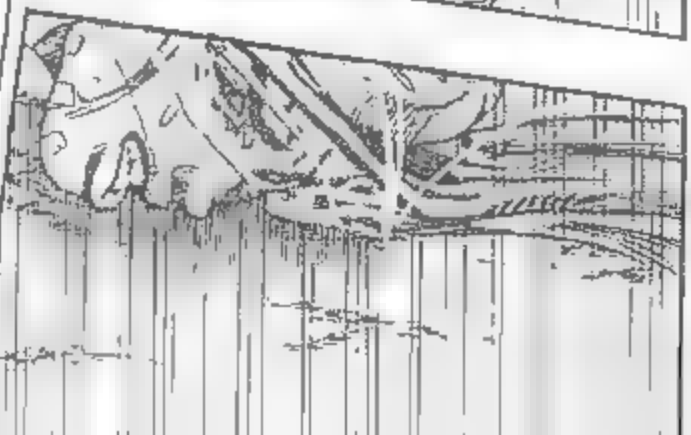
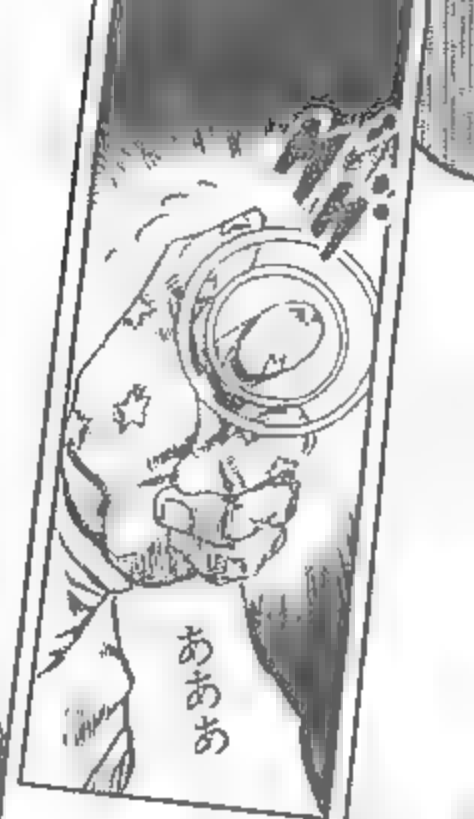
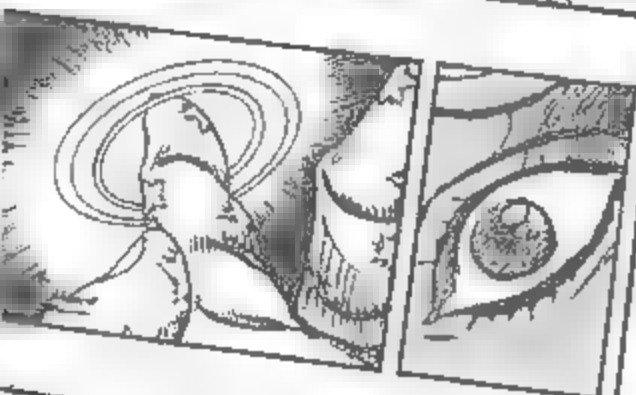
「ランプに炎を
ともして 近くや
数キロ先の味方の
陣営に合図を送る」

任務は
たったの
それだけだった

そして
わたしは再び
静かに
残っていた
酒を飲んだ

ほどなくして
陣営から銃声が起こり
町から昇る火と煙が
木の上から見えた

町の人々は虐殺され
あの戦争は そこから
敗北へ向かった
そして それが
今いる この『町』だ

この亡霊どもは
わたしが生きるため
捨てて来た人間たちだ!!
それを今
おまえが
おっかぶるッ!!

ぐえっ！
わたしは「清め」られて蘇ったぞッ！
そこにある「両脚部」ももらう資格が出来た！

うおおおお
ああああああ

ああああ
あああ
あああああ
心が迷っているならジョニィ・ジョースター
撃つのはやめなさい
決して「新しい道」は開かれない
もう迷っちゃあいない
わかったんだ……
さっきわかった！
撃つべき場所が……爪弾は！！

ズルッ
自分を撃つッ!!

ギャル ギャル
「黄金の回転」
「新しい道」へ行くぞ……

アクセル・RO

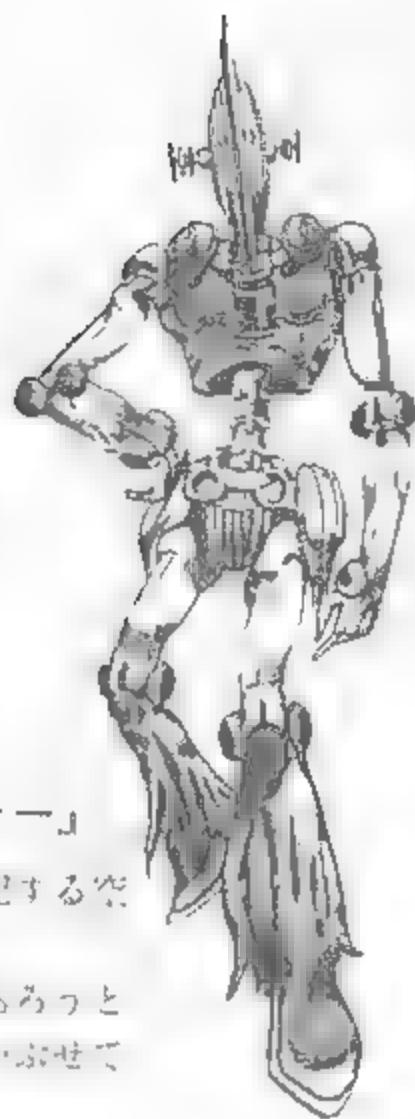
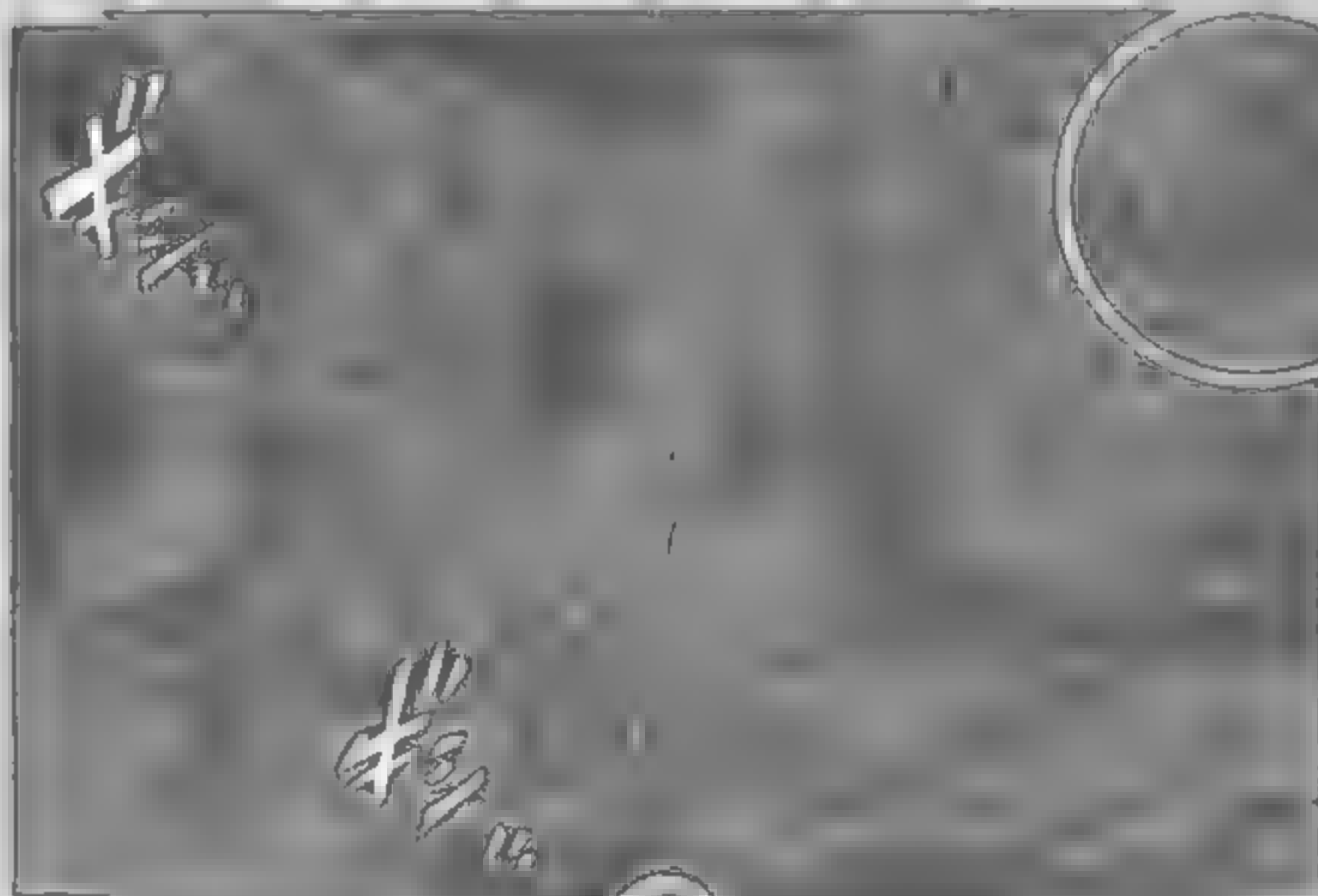
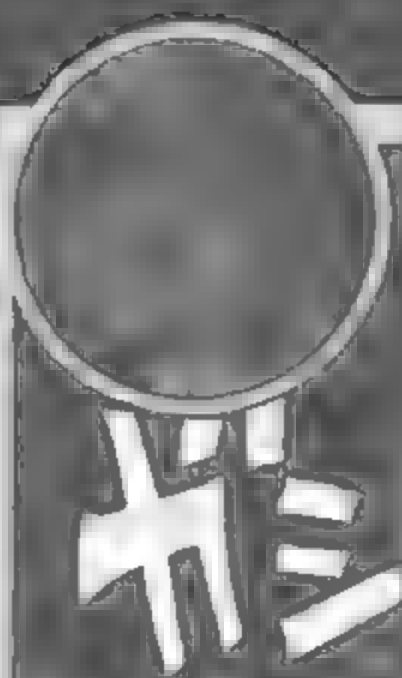
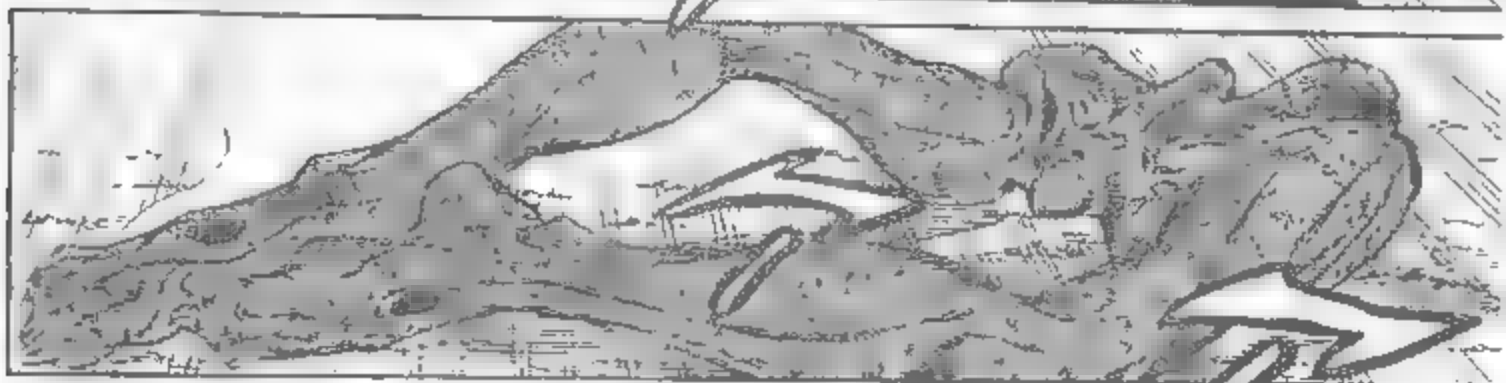
スタンド名—『シビル・ウォー』

過去に捨て去ってきた罪が支配する空間「シビル・ウォー」。

その「犯した罪」からは何者であろうと逃れる方法はなく、他人におっかぶせて清めるしか方法はない

#59
ゆめ
ゲティスバーグの

#59
ゲティスバーグの夢（ゆめ）

ジョニィ……!!
「両脚部」が
そろった!!
ついに……

ザッ
ザッ
このわたしが！
名前ー「アクセル・RO」
スタンド名
「シビル・ウォー」
相手が過去に捨てて
来たものを
全て提示できる能力——
そして自分の過去の罪を
相手におっかぶせて
清める。

ザッ
ザッ
上半身はどこだ!?
ジョニィの体内の
「脊椎」の一部が
残っているはずだ……
遺体は全て「回収」しろ!
だがちぎり飛ばしたジョニィの上半身はどこにある?

……
ドドド
ドド

チーム……
チュミミー～～ン

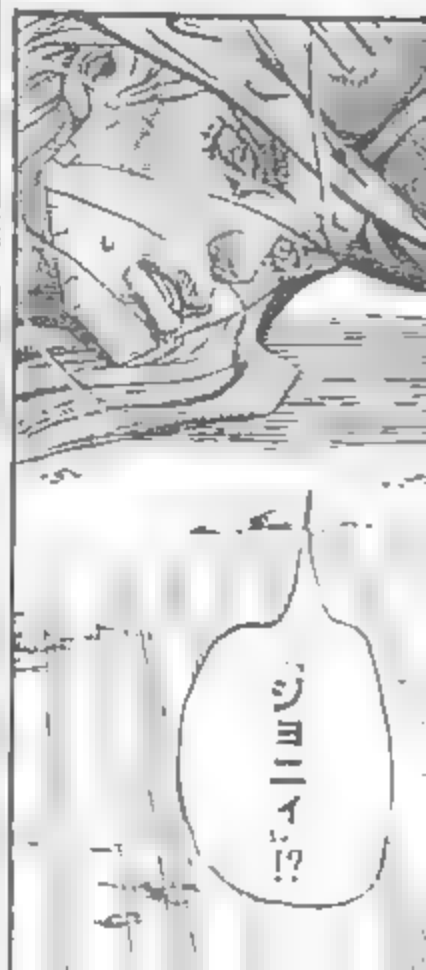
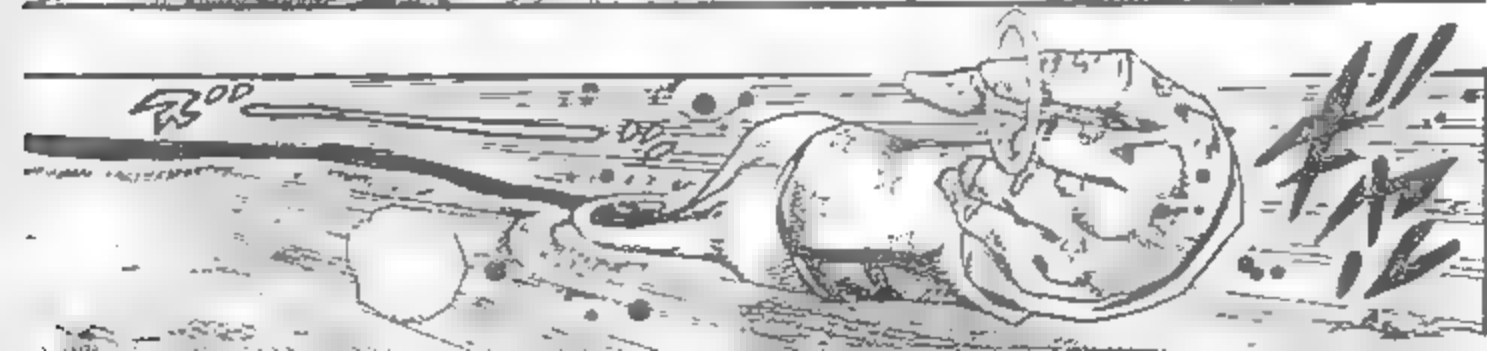
ガバッ!!
ジョニィ…!?

何だ……!?
これは……
!?

ジョニィの体は……
バラバラにされていない……
そうだ…… (確か)…… !!
ジョニィはさっき一瞬前に…… (なぜだ？と思ったが)
『自分』を撃った!!

ドッ

ぐえ!!

ドオオオオ
ズズズズ
「穴」から…………
「左腕」が…移動している!!「穴」の中からやつの腕が出て!
くっ
…………黄金

『黄金長方形』の回転!!
それは無限への軌跡
もしその回転を持つ「爪弾」で自分自身を撃ったなら……
螺旋の回転の究極の「地点」で……
無限にうずまくどんな「点」より小さな小さな最後の「場所」で……
その弾痕は……
自分の肉体を穴の中に巻き込むッ!

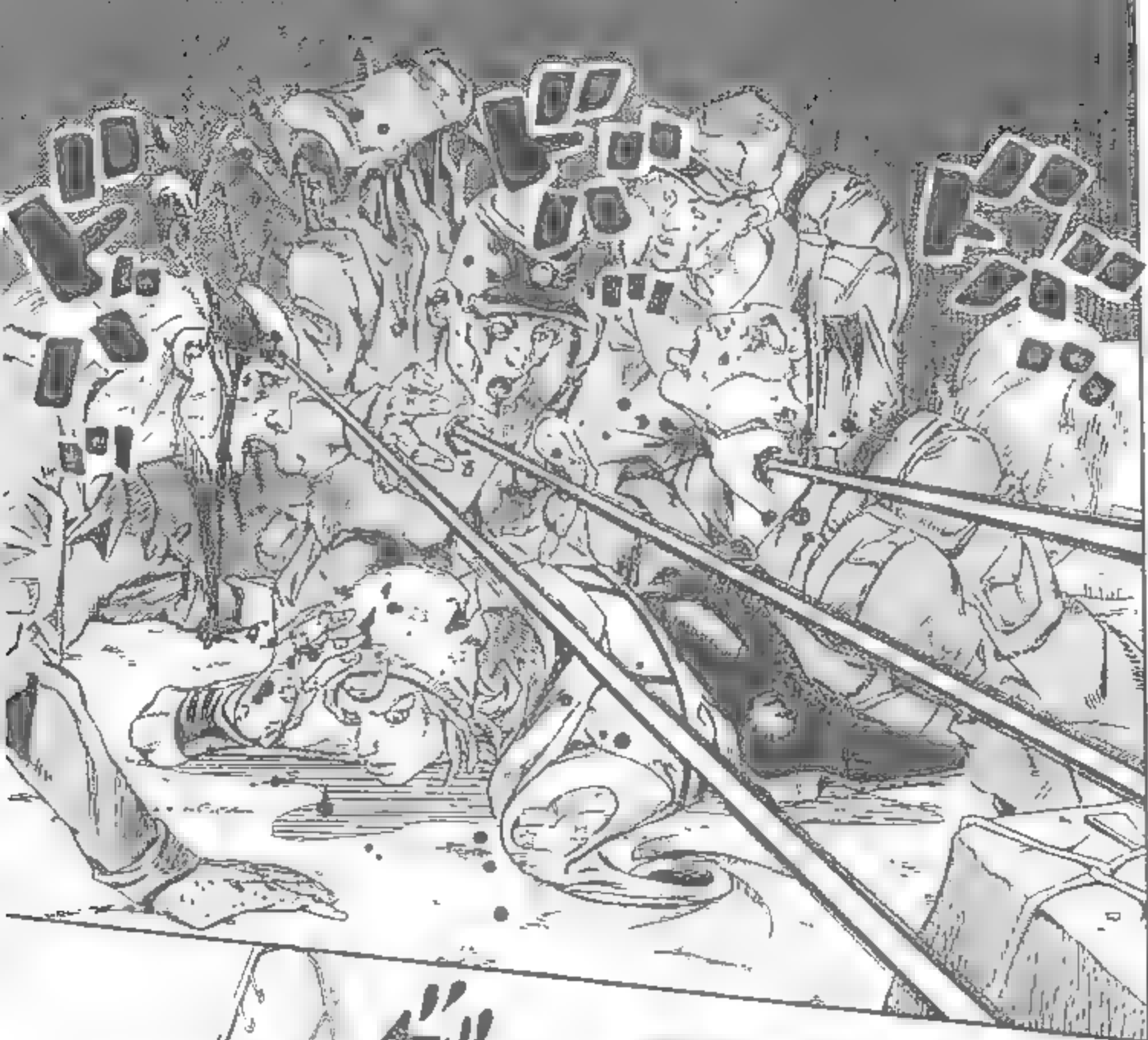
それは回転が正確なら理論的に無限に巻き込める！
ジョニィの「スタンド能力」の回転持続時間が止まる10数秒の間はッ！
オレのツェペリ一族も考えなかった新しい世界ッ！
亡霊どもッ！ジョニィをはなすんじゃあないッ！
しっかりつかんでやつの体をバラバラにしろオオオ──ッ

ドドドド

よし
見える

やった！「無限の回転の最後のところへ」ジョニィの爪弾は……
到達した

ジョニィ……
撃ってはならない
……
……

うが
HEY！ジョニィ…
「スタンド能力」の新しい境地を切り拓いておめでとうと祝ってやりたいところだが
だがいいか……

おまえにはもう どこへも 行くところなんか ないんだ…
新しい能力だろうと …そうでなかろうと これからどんな「力」を 持とうともな…
もう一度 思い出せ
今 おまえが ここで どういう状況に いるのか？……
この亡霊たちが なぜここに いるのかをな
わたしの自分の この存在は もうすでに おまえの「罪」で 護られている…

ジョースター！ おまえは わたしの「過去の罪」を 全部 おっかぶったんだ
「シビル・ウォー」
忘れたか？ わたしが この町の人間と 仲間の中隊全員を 見殺しにした「罪」… それを全部だ
わたしのところにいた 亡霊どもは おまえのものに なったんだ… ジョニィ・ジョースター
もう一度いうぞ… おまえが さっき わたしを 殺して捨てたから わたしは 「蘇れたんだ」！
それが 「シビル・ウォー」……わたしは おまえの「罪」の 中にいる！
だから わたしを！ ………… おまえには もう二度と 殺す事はできない
おまえが 何を しようとな！

戦いはすでに終了しているッ‼
今までのスタンド能力の影響で新しい能力に目覚めたようだが
おまえが腹内に持っていた『脊椎の一部』も亡霊どもが今おまえの体をつかんだ時にすでに手に入れて来たぞッ！
わたしは自分の罪を「清めて」遺体を回収する事だけが目的ッ‼
あとひとつ‼頭部を残して9つの遺体部位はこれで全てそろうぞッ！

ドドド
く…くそ…逃げられてしまう……
ドドド
ドドド
だ…だめだ……このまま…ここで逃げられる……

くっ……
……
逃げられた…

す……すごいぞ
あのお方の御体が……
わたしの体の中に……
同化していってくださっている
わたしは完全に「認め」られた
やったぞ……自分の「頭」をこの館のゴミの中に置いて来て……

なにイイイ
イイ〜〜〜

ジョニィ・
ジョースター
……(手が)……

くそっ!!
ドドドド
悪あがき・・・・を!!
は!・・・・・・
・・・・・・いない
ギリ ギリ
ギリ ギリ
ぐぐ
くっ
・・・・・・

ジョニィ……
何をする気だ……？
終わっているんだ……
ジョニィ・ジョースター
おまえはもう
終わっている……
こうやって
「遺体」を
「穴」から
つかんだところで
おまえはすぐ
「亡霊」どもに
八つ裂きにされるんだ
ボキン

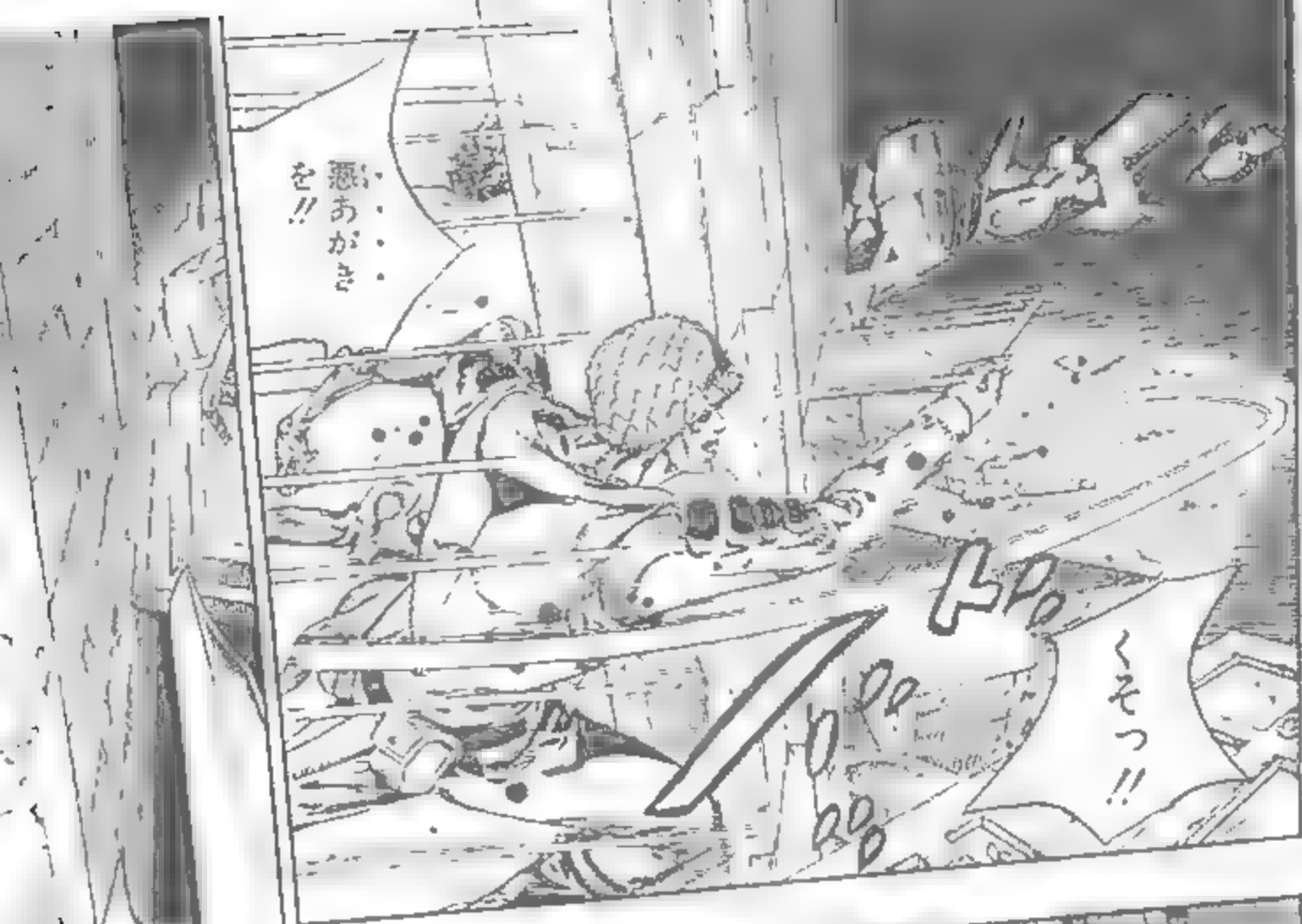
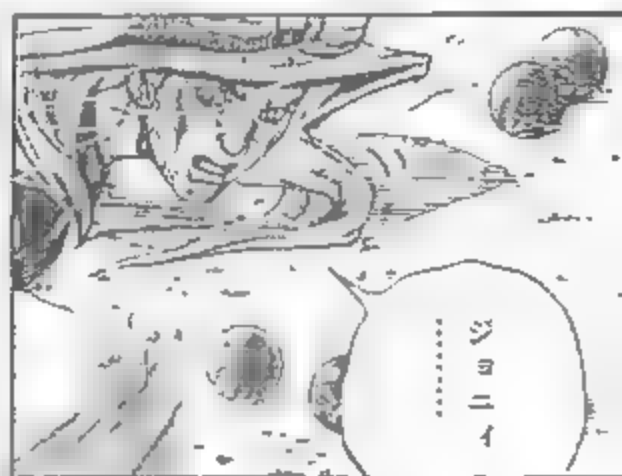
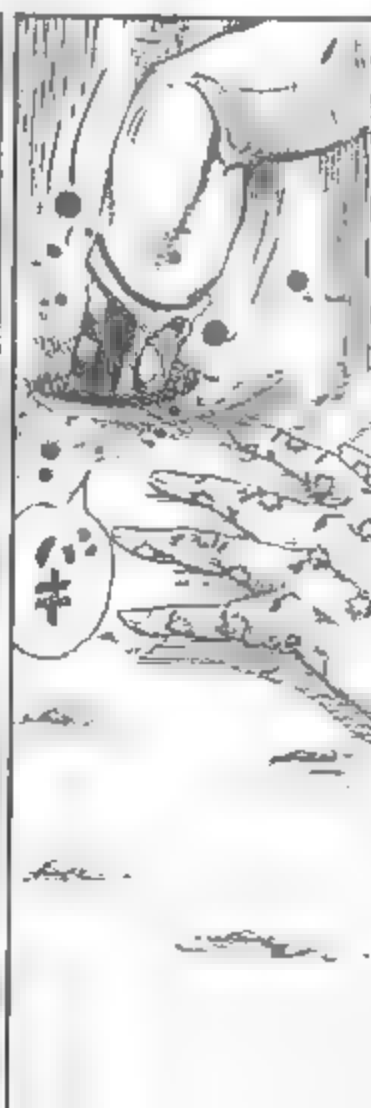
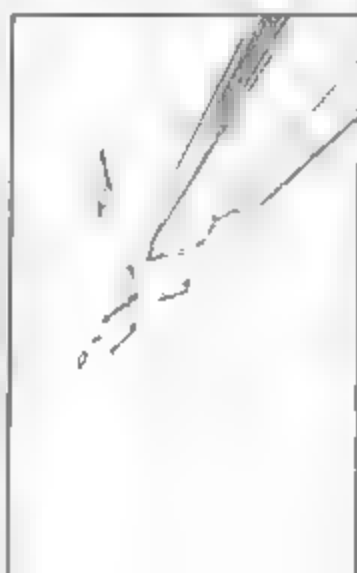
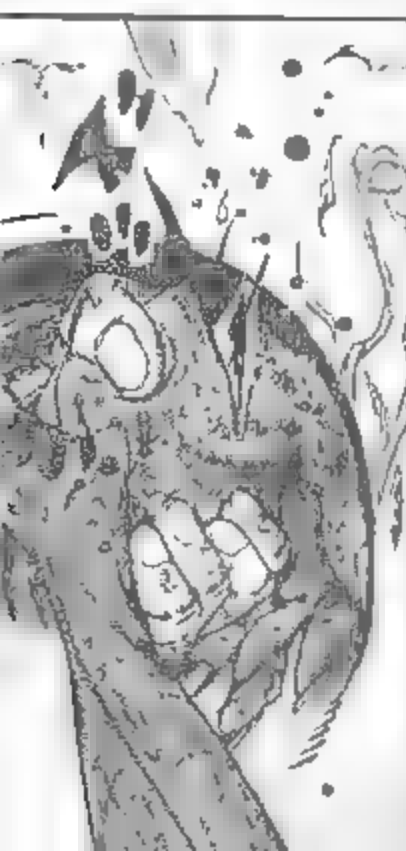
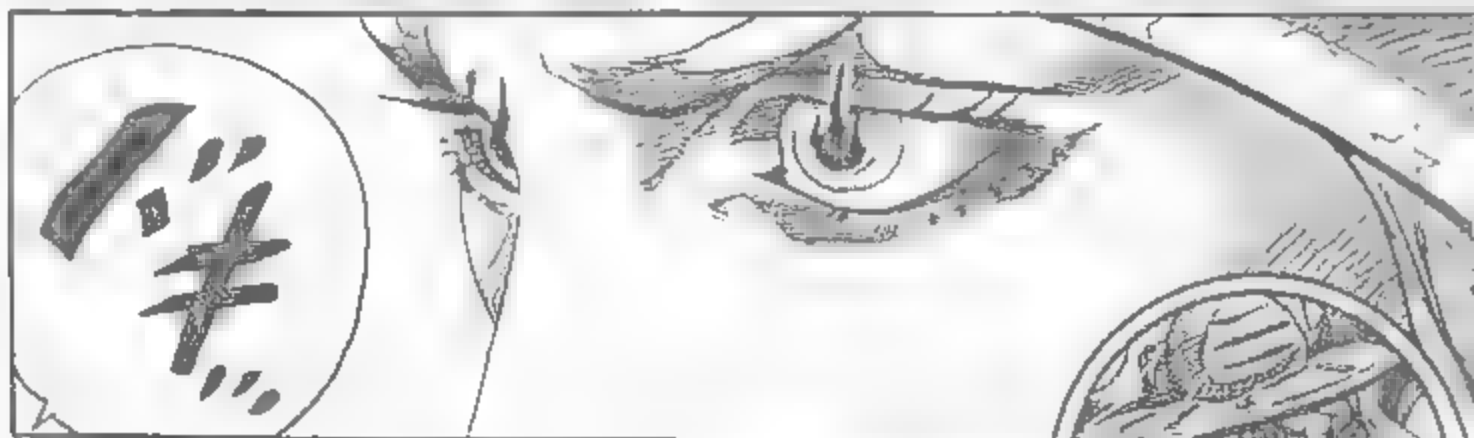
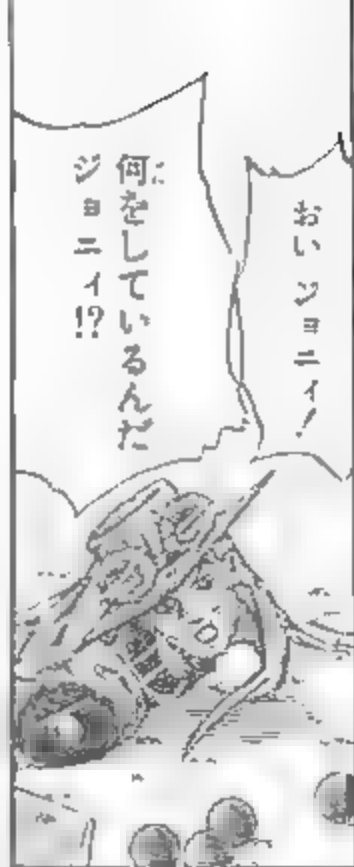
バキ

ボキッ

グギ

……!!

ジョニィ……!?

チュイイイン
手をはなせッ!
こいつッ!て……
チュイイン

何だと?
この「回転する穴」は……
このジョニィの脚以外のものが中に入ったら それはどうなる?
「遺体」がこのまま穴の中に入ったなら…
まさか こいつ… どうせ遺体が自分のものにはならず敗北するなら…
道づれに「遺体」を破壊するつもりかッ?
このクソ野郎 指をはなせッ!

うわあああ
遺体にキズを…
おいジョニィ!
何をしているんだジョニィ!?
おい……あの「目」は……
ジョニィのあの……「表情」は……

何しやがる!?
きさまッ!
わかっているのか!? こんな事を この「遺体」が誰のものか わかってやっているのかッ やめろッ!! お前はもう わたしには 勝てないッ!
ジョニィ! あの「眼差し」は
ガンマン・リンゴォが 見抜いていた「漆黒の心」
ジョニィは全てに 追いつめられた時 その暗黒面は 冷徹に人を殺せるという 表情だ
あれは 人殺しの 目だ
ジョニィは 全てを捨てる 気だ……
その「人間性」 までも……

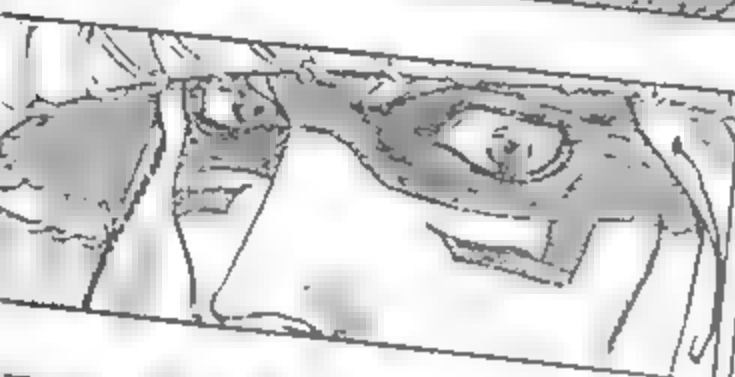
ジョニィ
やめろッ!!
オレたちが
このまま
負けるとしても
ローマ法王庁が
探しているというなら
その「遺体」は
とんでもないものだッ!
破壊するのは
間違っているッ!!
やめろッ!
そのままヤツに
渡してやれッ!
ジャイロ……
迷ったなら
「撃つな」……
…………だ!
だが
もう『迷い』は
ない

このうす汚れた無知のゴミ野郎がァ――ッ!!
おまえなぞこの「遺体」に触れる資格さえもないッ!! おまえがどれだけゴミなのかッ!
どれだけ下っぱなのか――ッ!! 知りたいのかッ!? オレが教えてやるッ――!!
ギャン
ギャン
ギャン

うおおおおお
おおおおおお

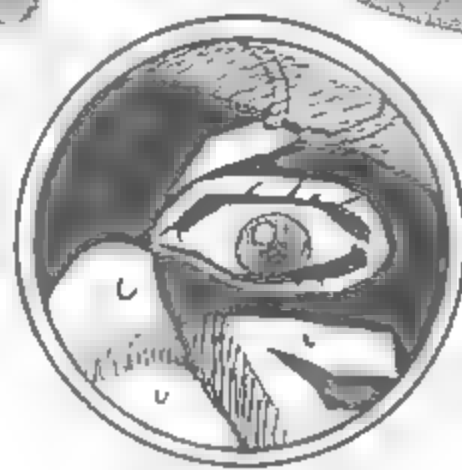
おおおお
がぶッ

うおおおおおお
や…やった……
『勝った』……!!
ナイフは
向こう側に
行けた!!
地獄で腐り果てろッ!
これで わたしの完全なる
勝利だあアアアアアア——ッ

ジョ…
ジョニイイイーーーッ!!
いや…
違う……
……
勝利はぼくの方だ

しくったと思っているのか
ぼくは・・・わざと君に・・・ぼくを殺させた
君は・・・・・ぼくをナイフで・・・殺したんだ
やっちまったな・・・・・・それは「罪」だ
「捨てたもの」君のスタンド能力なのだろう? これで ぼくにおっかぶせた「罪」は 再び君に移って戻ったぞ!

だから
ぼくは蘇れた
「清め」られたんだからな
オオオ
オオ
オオオ
君の「亡霊」も
こっちへ戻って
来たぞ
君のところへ……
オオオオ
オ

この館の「中」が
君のスタンドの
射程距離内

「遺体」を
その入口に置いて
立ち去れ！

さもなくば

ぼくが
館の「外」に
出て行って
おまえを
仕留める事は
可能なはず

勝利は……

ぼくらの
方だ

ハァ
ハァ

ハァ
ハァ

ハァ

もう一度だ…
オレを殺させてやる
オレを殺せ…
ゴミとともに腐り果てやがれーーッ

がふっ!!
……
あ…
ぐふっ
ああっ
ウソ……
何だと……
!?
あああ
あなたは……! あなたは!!
そんな… 何で…

よくやった……
アクセル
君はまだ死なない………
少し急所をはずして撃ったからな
ドドドドド
だっ誰だッ!?
チラリ
ドドドド

ドドドド

何だと…ここに…この場所に!?
おまえはッ!!
わたしは…斧で襲いかかるそこの「アクセル」から君を助けた
正当なる防衛だよ アクセルの君への攻撃を止めたんだ……
だから彼を殴ってもこの館の「ジビル・ウォー」の「罪」はわたしには移らない…
しかもアクセルはまだもうちょっと生きてるしな…あと数分は生きている価値がある
何だといつから!?

だ……
大統領〜〜
全ては遺体「総取り」のためだ…………
最後の最後で我が国が「9部位」を手にするために……
この「スティール・ボール・ラン・レース」は行われていたんだからな
アクセル！…もう少し死なないで…ジャイロとジョニィをまだ残っている「シビル・ウォー」でここに足止めしといてくれ
わたしはこの館に入って「罪を犯す」つもりはまったくない
うおおおおお

ドドドド
うおおおおおお
おおおおおおお

うああああああああああ
ああああああ

ニュージャージー
ニューヨーク
マンハッタン
ペンシルバニア州
ゲティスバーグ
フィラデルフィア

そろった…………
残るはただひとつ…「頭部」！
最後のひとつはこの9部位の遺体からその存在場所はつかめるはず！
「左眼球部」は…Dioの所有
しかし「右眼」は『右眼球部』はホット・パンツかジャイロが持っていると思っていたがここにはない！
やはり……
我が政府内部には…
まだいるのかッ‼ 『右眼球部』を持った「裏切り者」がッ！ このわたしの近くにッ‼
フィラデルフィアまで約145㎞地点
終点ニューヨーク・シティ——レース終了まで
——予定日数 残り5日——
15ゲティスバーグの夢(完)

■ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RUN

⑮ゲティスバーグの夢

2008年5月7日　第1刷発行

著　者　荒木飛呂彦

編　集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　鳥嶋和彦

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6236(編集部)
電話　東京　03(3230)6191(販売部)
03(3230)6076(読者係)
Printed in Japan

印刷所　中央精版印刷株式会社

ISBN978-4-08-874518-3 C9979